

市町村名		八重瀬町											
平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】													
事業番号・事業名		1-①		八重瀬町外国語指導強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章－5－(4)－ア					
担当部課名		八重瀬町教育委員会 学校教育課		事業実施（予定）年度		平成24～33年度		国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築					
						沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ－3					
事業内容		小学校・幼稚園において国際化に柔軟に対応できる力を養うため、通常の授業とは別に、夏休みや冬休みを利用した特別英語教室を開催する。											
実施方法		■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（報酬）											
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
		予算の状況	(a) 当初予算額	14,064		11,923		14,398					
			(b) 予算現額	8,809		11,923		13,935					
			(c) 増減額 (b-a)	▲ 5,255		0		▲ 463					
			(d) 前年度繰越額	－		0		0					
			A. 計 (b+d)	8,809		11,923		13,935					
		B. 執行済額		8,809		11,923		13,935					
		うち交付金充当額		7,047		9,539		11,148					
		次年度繰越額		0		0		0					
		執行率（％）(B/A)		100.0%		100.0%		100.0%					
予算の状況の説明		当初予算よりマイナスはあるものの、計画通りに外国語指導助手・英語指導助手を配置し、ほぼ計画通りの執行となった。											
活動目標（指標）及び達成状況		H26活動目標（指標）		達成状況									
				24年度		25年度		26年度		27年度			
		・外国語指導助手 4園4小（3人は園・小兼務）	目 標	（ 幼小へ配置 ）		（ 幼小へ配置 ）		（ 幼小へ配置 ）		（ ）			
			実 績	配置済み		配置済み		配置済み					
		・英語指導助手：2人 2中へそれぞれ配置	目 標	（ 2人 ）		（ 2人 ）		（ 2人 ）		（ ）			
実 績	2人配置済み		2人配置済み		2人配置済み								
達成状況説明		3人の外国語指導助手4園4小（3人）、英語指導助手2中（2人）の外国人を配置した。											
成果目標（指標）及び進捗状況		H26成果目標（指標）		基準値（年度）		24年度		25年度		26年度		目標値（年度）	
		4幼稚園269人、4小学校(5.6年生)646人、及び2中学校938人受講。	目 標	（ ）		（ 中学校289人 ）		（ 中学校940人中 ）		（ 受講者数 幼稚園269人 小学校646人 中学校938人 ）		（ ）	
			実 績			289人中 159人が合格		289人中 172人が合格		受講者数 幼稚園269人 小学校646人 中学校938人			
		英語検定受検者中8割合格目標	目 標	（ ）		（ ）		（ ）		（ 英検8割合格 ）		（ ）	
			実 績							55%合格 未達成			
進捗状況説明		中学校の英語検定について、全生徒940人中326人が受検し、178人が合格しており、目標を大きく下回った。外国語講師を引き続き学校に配置し、基本的動詞の3単元や過去形の理解等基礎となる言葉の意味など、英語担当教諭も含み再度授業等での取り組みを再構築させ、引き続き受講率及び合格率の底上げを行う。											

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・計画とおり外国語指導助手等を配置しているが、なかなか英検まで受講につながらない。まずは英語教育へ興味をもたせ、目に見える基礎的な英検を受験させる道しるべになるように育成する。 ・配置事業を推進するにあたり、中学生には受講希望者があいるが、幼小については受講が進んでないが継続的に配置を行い、外国語への興味を引き続き推進をする。 ・英検3級以下の受験者の合格率は高いが、2級以上の合格率が極端に低く、全体の合格率を下げているのが要因である。	・英検は受益者負担という観点から強制はできないものの、粘り強く推進を行う ・外国語指導助手・英語指導助手お互いの合同研修会の充実 ・各学校の教諭も含めた意見交換 ・基本的な単元等の学習を繰り返し理解させ、3級取得者へのスキルアップを更に促進させるため、英語担当教諭及び英語指導助手を含め空き時間等を利用し、取り組みを強化させ3級以上の取得率の底上げを図る。
今後の取り組み方針		
・外国語指導強化事業をととして、引き続き幼小中への外国語指導助手、英語指導助手を配置することにより、コミュニケーション能力の育成、グローバル的視点の育成を図る ・指導助手の研修会を引き続き行い、授業の進め方や意見交換の場の提供及び助言を行う		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13,935</td><td>13,935</td><td>11,148</td><td>2,787</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	13,935	13,935	11,148	2,787	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
13,935	13,935	11,148	2,787	0										
八重瀬町 13, 935千円 報酬 12, 994千円 共済費 941千円 幼小外国語指導助手2人 英語指導助手2人 外国語指導助手及び英語指導助手の共済費 (社会保険料、雇用保険料事業所負担分、労災保険料)														
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目、支出等については、八重瀬町嘱託員規程に基づき支出しており妥当なものと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	八重瀬町パソコン指導強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	八重瀬町教育委員会 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築		
事業内容	迅速に進むIT社会へのニーズに伴うべく、パソコン操作の能力向上を義務教育で強化するために、ITに特化した指導員を町内の小中学校に配置する。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（報酬）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	(a) 当初予算額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(b) 予算現額	6,614	6,632	7,742		
		(c) 増減額 (b-a)	4,271	6,632	7,424		
		(d) 前年度繰越額	▲ 2,343	0	▲ 318		
		A. 計 (b+d)	—	0	0		
		B. 執行済額	4,271	6,632	7,424		
		うち交付金充当額	3,417	5,305	5,939		
		次年度繰越額	0	0	0		
		執行率（％）(B/A)	100.0%	100.0%	100.0%		
	予算の状況の説明		当初予算よりマイナスはあるものの、計画通りにパソコン指導員配置し、ほぼ計画通りの執行となった。				
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況				
	パソコン指導員配置数 小学校に2名配置（2名兼務） 中学校に2名配置	目 標	(小2名中2名配置)	(小2名中2名配置)	(パソコン指導員配置 小学校2名 中学校2名)	()	
		実 績	配置済み	配置済み	配置済み		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	パソコン指導員を小学校へ2名、中学校へ2名、を配置して児童生徒へパソコン操作方法の指導ができた。					
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・H26年度受講者数 4小学校1,940人、2中学校938人受講。	目 標	()	(9人受験中8人が合格)	(13人中12人が合格)	(小学校1,940人 中学校938人)	()
		実 績		合格率89%	合格率92.3%	小学校1,940人 中学校938人	
	・ワープロ検定等、受験者中8割合格を目標	目 標	()	(8割)	(8割)	(受験者中 8割合格)	()
		実 績		達成	達成	73.7% 未達成	
	進捗状況説明	昨年度に比べ受講率はあがったが、合格率は目標を下回った。パソコン操作の楽しさや情報モラル教育などを合わせて行いながら、児童生徒への興味をもたせ、検定等へ受講するよう促す。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・小学校では情報機器の基本的な操作を行うことでPCに興味をもたせた。 ・中学校においては、より専門的な文書作成、表計算、各ソフトウェアを使用し、情報の加工、まとめをおこなった。 ・PC指導員を活用した、教師への勉強会(電子黒板を活用)を行った。 ・例年通り指導を行ったが、基本的な間違いが多く今回はこの結果になった。	・小学校・中学校とも基本的な操作、より専門的な知識をPC指導員により身につけることができるが、PC検定等受益者負担という観点から強制はでないが、児童生徒に自信をつけさせ、受験するよう推進する。 ・電子黒板を活用し、さらにはICT機器をも組み合わせ教諭及び支援員の業務の効率的・高度化を図る必要がある。 ・この結果を踏まえ、PC指導員と会議を行い、再度、基本操作の徹底を行うように助言を行った。
今後の取り組み方針		
PC指導強化事業をとおして、引き続き児童生徒がPC操作に興味を持たせつつ、検定等の受講者を増やししながら、教員のICT活用力向上に努めるための引き続き支援員の配置を行う。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,424</td><td>7,424</td><td>5,939</td><td>1,485</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,424	7,424	5,939	1,485	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,424	7,424	5,939	1,485	0										
八重瀬町 7,424千円 賃金 6,569千円 共済費 855千円 小学校(PC指導員)2人 中学校(PC指導員)2人 PC指導員の共済費 (社会保険料、雇用保険料事業所負担分、労災保険料)														
資金の 使途の 流れ 検証 ・費目・ 評価	評価	点検項目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支出先、費目、支出等については、八重瀬町賃金管理規程に基づき支出しており妥当なものと考えている。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。										
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	八重瀬町学力向上支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部課名	八重瀬町教育委員会 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成25～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進		
事業内容	小・中学校に児童生徒の学力向上のために学習支援員を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで学校及び学級の運営を円滑に行い教育環境の充実に図る。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（賃金）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,280	25,280			
		(b) 予算現額	12,280	25,280			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 前年度繰越額	—	0			
		A. 計 (b+d)	12,280	25,280			
	B. 執行済額		12,280	25,280			
	うち交付金充当額		9,824	20,224			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		町内の小学校・中学校に学習支援員を配置し、ほぼ計画どおりの執行である。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	学習支援配置数 小学校10人 中学校6人	目 標	（ 8人配置 ）	（ 小学校10人 中学校6人 ）	（ ）	（ ）	
		実 績	8人配置	小学校10人 中学校6人			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	学習支援員を4小学校へ10名、2中へ6名配置。学級の状況に応じてT・T方式授業や少人数学級への補助として配置することにより児童生徒へのきめ細やかな学級運営が行えた。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
	各小学校：年間の授業及び補習時間：980時間（年間平均） 各中学校：年間の授業及び補習時間：1,077時間（年間平均）	目 標	（ ）	（ 8人配置 ）	（ 小学校980時間 中学校1,077時間 ）	（ ）	（ ）
		実 績		8人配置	小学校980時間 中学校1,077時間		
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	学校より少人数学級等で個々の理解度に合わせた指導が行えたことで、基礎学力の向上につながり、児童生徒の学習に対す津意欲も向上したとの意見が多数寄せられ、このことからきめ細やかな指導等で学力向上につながったと判断している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・八重瀬町は児童生徒の全国学力テスト調査において、全国平均を下回っている状況にある。 ・配置人数の目標は達成できているが、学習支援員は教員資格保持者を配置するために、人材の確保に苦慮している。	・各小中学校に配置した学習支援員と学校を連携させ、よりきめ細やかな指導体制を構築し、学習意欲の向上や基礎学力の定着を図る学力向上を図っていく必要がある。 ・昨年度に引き続き支援員の確保を年度初めから行えるように、大学等とも連携を行い、教諭免許保有者の確保に努める。
今後の取り組み方針		
・教育体制を強化するために、学習支援員を対象に勉強会を行い各学校での問題点や支援のあり方の情報共有を委員会と行い八重瀬町全体での学力向上へ繋げる。 ・教諭免許保有者の確保を行うために、早期の募集を行いながら、各教育関係(教育事務所・大学・専門学校)への派遣依頼や情報の提供を図る。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25,280</td><td>25,280</td><td>20,224</td><td>5,056</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 八重瀬町 25、280千円 賃金 16人 22,234千円 学習支援員 小学校10人 中学校6人 共済費 3, 046千円 PC指導員の共済費 (社会保険料、雇用保険料事業所負担分、労災保険料)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	25,280	25,280	20,224	5,056	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
25,280	25,280	20,224	5,056	0										
資金の 使途の 流れ 点検 評価 ・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支出先、費目、支出等については、八重瀬町賃金管理規程に基づき支出しており妥当なものと考えている。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。										
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	八重瀬町伝統芸能文化の継承事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(1)－ア	
担当部課名	八重瀬町教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい個性を持った人づくりの推進		
事業内容	中学校において、伝統芸能の特別授業を行い八重瀬町の伝統芸能の継承を図るため、組踊、三線、エイサー等の講演か会を開催する。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（謝礼金）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,208	900	900		
		(b) 予算現額	808	877	829		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 400	▲ 23	▲ 71		
		(d) 前年度繰越額	－	0	0		
		A. 計 (b+d)	808	877	829		
	B. 執行済額		808	877	829		
	うち交付金充当額		646	701	663		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明		当初予算よりマイナスはあるものの、講師を派遣し計画通りの執行となった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	中学校への講師招聘 30人	目 標	(中へ配置)	(継続配置)	(30人)	()	
		実 績	配置済み	継続配置	28人		
		目 標	()	()	()	()	
実 績							
達成状況説明	東風平中学校において、組踊り、三線、エイサーなど八重瀬町内で活躍している方々を講師として7月より10月の発表会に向けて特別授業を行い、八重瀬の伝統芸能に直接ふれ、又は学びながら、発表会で披露している。講師とのスケジュール調整がうまくいかず、目標を下回った。						
成果目標（指標）及び進捗状況			基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	特別授業終了後の発表会参加生徒数:642人	目 標	()	(全生徒)	(全生徒)	(参加生徒数 642人)	()
		実 績		638人参加	644人参加	参加生徒数 642人	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
進捗状況説明	7月より講師を招いて生徒に直接指導することで生徒も喜んでいる。発表会に向けて一体感がでて教師も驚いている程である。継続して毎年開催することにより八重瀬町の伝統芸能の継承を継続的に図ることができる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・講師において、年度によりスケジュールに余裕がない場合があり講師依頼する際に確実に配置ができない場合がある。	・直接現役の講師から指導受ける効果は絶大で、この事業を継続し、又は若手の講師等も模索しながら平行で現講師とも調整を行い、継続的に派遣ができるように調整を行う。 ・毎年度行う予定から、演目は固定であるので、今年度に依頼した講師に、次年度も引き続き講師を引き受けるようお願いし、講師一覧表を作成し事前をお願いするのではなく早めにアプローチ等調整をする必要がある。
今後の取り組み方針		
地元の講師とふれ合うことで、地域のつながりもでき、八重瀬町からの今後の若手育成につながるため、今後も継続していく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>829</td><td>829</td><td>663</td><td>166</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 八重瀬町 829千円 講師謝礼金 829千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	829	829	663	166	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
829	829	663	166	0										
資金の流 れ、検 査、費 目・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支出先、費目、支出等については、八重瀬町八重瀬町講師謝礼金支払基準表に基づき支出しており妥当なものと考えている。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模についても、ほぼ見込みどおりの執行額となり、適正であった。										
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	八重瀬町国際交流人材育成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築	
事業内容	教育・文化・歴史・産業等の視察学習や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広め、友情を深め、国際化時代に対応しうる青少年の育成を図るため、青少年リーダーを海外へ派遣する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	7,000	5,880	6,356		
		(b) 予算現額	7,000	5,880	6,356		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計 (b+d)	7,000	5,880	6,356		
	B. 執行済額		5,603	5,381	6,313		
	うち交付金充当額		3,944	3,888	5,050		
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		80.0%	91.5%	99%		
予算の状況の説明		計画どおり予定していた事業内容を実施することができ、順調に予算執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	海外短期派遣生徒数 12人	目 標	(12人)	(12人)	(12人)	()	
		実 績	12人	12人	12人		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	国際化時代に対応しうる青少年を育成するうえで、青少年リーダー12人をハワイ州へ派遣し、視察学習やホームステイ等を通して国際的視野を広め、友情を深めた。事前研修で八重瀬町の紹介をパワーポイントで作成したものを英語で発表したり、郷土芸能のエイサーを交流会において披露した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	現地での研修を体験することにより、国際的視野を広めると共に、コミュニケーション能力の向上と国際化意識の醸成、国際性豊かな人材の育成。	目 標	()	(12人)	(派遣数12人)	(人材育成)	()
		実 績		12人	派遣数12人	人材育成	
	事後報告書:英文・日本語での感想等を掲載した冊子(50冊)	目 標	()	()	(報告書50冊)	(報告書50冊)	()
		実 績			報告書50冊	報告書100冊	
	進捗状況説明	・成果目標である派遣数12人、報告書50冊を実績において、全て達成することができた。 ・現地での研修を体験することで、国際的視野が広がり、コミュニケーション能力が向上したことで、積極的に英会話を楽しんでいる姿が伺えた。また、高校への進路においても、国際学科等への進学や将来英語を使った仕事に就きたいとの声も聞かれた。 ・事後研修会において、ハワイでの研修内容や交流会で発表した八重瀬町の紹介をパワーポイントで発表した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(ア)日程等の調整が遅れたため、ホームステイ先の確保が難しかった。 (イ)同じ月に別の町と重なったため、ミドルスクール体験入学ができなかった。 (ウ)日本と比べ治安が悪いため、宿泊施設及び安全面の確保が重要となった。 (エ)ハワイで研修するため、お世話になる沖縄県人会、東風平町人会。具志頭村人会の歴史をちゃんと学習する必要がある。	(ア)沖縄県人会・東風平町人会・具志頭村人会との早めの調整 (イ)ミドルスクールの受入れ確認と、できなかった場合の代替案(視察研修)を準備しておく。 (ウ)宿泊施設や周辺の安全面が確保できる旅行社を選定する。 (エ)事前研修の中で、ハワイとの繋がりと歴史・文化等の学習に力を入れ、知識を高める。
今後の取り組み方針		
(ア)ホームステイ先を確保するために、別の英語圏の研修場所を探す必要がある。各年で交互に研修すれば、ホームステイ先の負担も軽減される。 (イ)ミドルスクールだけでなく、ハイスクールも今後検討する。 (ウ)旅行社を選定する際に、安全面が十分であるかどうかを検討する。 (エ)事前研修の中で、ハワイと沖縄の関係についてもっと学ぶ必要がある。 ●H27は、関係機関との連絡調整を早めに行うことと、事前研修の内容(ハワイとの繋がりを)を充実させること。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,033</td><td>6,313</td><td>5,050</td><td>1,263</td><td>720</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,033	6,313	5,050	1,263	720
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,033	6,313	5,050	1,263	720										
八重瀬町 6,313千円 → 補助金 6,313千円 → 八重瀬町青少年国際交流会 6,313千円 補助金 〔 旅費・印刷製本費・使用料等 〕 交流会負担分(交付対象外経費) 720千円 〔 食料費・保険料等 〕														
資金の流 使途の 点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、国際化時代に対応しうる青少年の人材育成を木定期としている町内各種団体(八重瀬町青少年国際交流会)であり、妥当であると考えられる。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は、全体の1%未満であり、適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○現地での食料費(食事・アロハパーティー等)や保険について受益者負担としているので妥当であると考えられる。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なもののか等について、支出等に関する書類により確認、適正であった。											

市町村名	八重瀬町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥		謝花昇紙芝居事業作成委託事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア	
担当部課名	生涯学習文化課		事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成	
事業内容	『自由民権運動の父』とよばれ、明治時代に沖縄で参政権運動を獲得するために活動した八重瀬町出身の謝花昇の生涯を紙芝居・絵本にし、町内の小中学校、県内の教育機関へ配布する。また、町のHPでの公開や読み聞かせを行うなど紙芝居を活用してもらう。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,418				
		(b)予算現額	3,289				
		(c)増減額(b-a)	1,871				
		(d)繰越額					
		A. 計(b+d)	3,289				
	B. 執行済額		3,138				
	うち交付金充当額		2,510				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		95.4%				
予算の状況の説明		当初、紙芝居をA4サイズで作成する予定であったが、町内の読み聞かせサークル等からA2サイズが活用の幅が広がるとに意見もありA2サイズに変更、また、紙芝居をデジタル化したため、さらに町民を対象に読み聞かせ会を開催するための話者への報酬も含め、増額1,871千円増額とした。計画していた事業内容はすべて実施し執行することができた。不用額が154千円発生しているが、入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	謝花昇紙芝居・絵本作成 200セット	目 標	(200セット)				
		実 績	200セット				
	紙芝居のHP等での公開	目 標	(HP公開)				
		実 績	HP公開				
	紙芝居の読み聞かせ 1回開催	目 標	(1回)				
		実 績	1回				
	達成状況説明	・謝花昇の生涯をテーマに紙芝居と絵本を作成した。 ・既存の謝花昇銅像前で紙芝居の読み聞かせを行った。 ・町のHPで紙芝居の公開を行った					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度
・町内各小中学校 6校×10セット=60セット ・県内公立図書館等 70セット ・八重瀬町各自治会 33セット ・八重瀬町 37セット		目 標	()	(200セット)			
		実 績		200セット			
・HP閲覧数:10PV/日(年間3,500PV換算)		目 標	()	(10PV/日)			
		実 績		10PV/日			
・紙芝居の読み聞かせ 1回開催(40人)		目 標	()	(1回・参加者40人)			
		実 績		1回・参加者40人			
進捗状況説明		・紙芝居・絵本各200部を作成し、町内の学校や県内の教育施設等に配布した。町内の小中学校では、読み聞かせサークルの方が朝の読み聞かせの時間に活用した。 ・既存の謝花昇銅像前で紙芝居の読み聞かせを行った。その際、目標設定の40人を達成した。 ・多くの人が読めるように町のHPで公開し、1日10PVを達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) ・小学生3.4年生以上が理解できる内容と基準を設け、小学校の先生や謝花昇研究者等と何度も話し合いを行ったため、文章を作りがあげるのがに時間を要した。 ・紙芝居・絵本の町内小中学校への配布では、読み聞かせサークルに直接配布し、学校での朝の読み聞かせの時間に活用してもらうことができた。 ・ガイドが案内するまち歩き「謝花昇ゆかりの地を歩く」開催し、町内にのこる、謝花の生家跡や学校跡などを回することで、謝花をより身近に感じ関心を高めることができた。また、案内の冒頭で紙芝居を読み、その後ゆかりの地を回ったが、参加者から理解しやすかったという声があがった。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) ・作成した紙芝居・絵本をより多くの人に活用してもらえるように、読み聞かせを行う場を作っていく必要がある。
	今後の取り組み方針 ・定期的に「謝花昇ゆかりの地を歩く」の開催を行い、その際紙芝居を活用する。 ・町内各学校での朝の読み聞かせで紙芝居の活用の推進を図る。 ・教育委員会では、今後継続的に児童・生徒を対象に謝花昇の作文を募集する取り組みを行う予定がある。その際、絵本を小学生の指定図書にする計画で、現在その作業をすすめている。	

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 千円)														
八重瀬町教育委員会 3,138千円 委託料 丸正印刷株式会社 3,132千円 (「謝花昇物語」の絵本・紙芝) 報償費 紙芝居読み聞かせ 6千円 (ガイド 1人)		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 15%;">総事業費</th> <th style="width: 15%;">交付対象 事業費</th> <th style="width: 15%;">交付金 充当額</th> <th style="width: 15%;">市町村 負担金</th> <th style="width: 15%;">交付対象 外経費</th> </tr> <tr> <td>3,138</td> <td>3,138</td> <td>2,510</td> <td>628</td> <td>0</td> </tr> </table>			総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	3,138	3,138	2,510	628	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
3,138	3,138	2,510	628	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支出先の選定方法については委託は指名競争入札で執行しており妥当である。 ○読み聞かせの講師は、八重瀬町ガイドの会会員へお願いしたため妥当である。 ○事業は仕様書通り積算し、適した予算内容であった。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦ ICT教育強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 Ⅲ-3	
事業内容	児童生徒の情報教育及び学力向上を図るため、小中学校の各普通教室に電子黒板等のICT環境を整備し魅力的な学習環境を整える。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	95,713				
		(b) 予算現額	95,713				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額	-				
		A. 計 (b+d)	95,713				
	B. 執行済額		93,301				
	うち交付金充当額		74,640				
	次年度繰越額		-				
	執行率 (%) (B/A)		97.5%				
予算の状況の説明		・不用額が2,412千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	電子黒板整備 小・中学校普通教室	目 標	(全普通教室)	()		()	
		実 績	全普通教室 特別教室				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	当初の事業計画では普通教室の90台のみの設置だったが、理科室と特別支援教室へ25台追加することができ、計115台を設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)
	町内小中学校普通教室の電子黒板導入率 (小学校100% 中学校100%)	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	当初の計画通り、普通教室には100%設置する事ができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	普通教室及び理科室、特別支援教室に設置したが、学校によってはうまく活用できていない教職員もあり、教職員の技能向上が課題である。	電子黒板の活用について、長期休業期間を利用して研修会等を定期的に開催し、全ての教職員の活用頻度を上げるように取り組んでいきたい。
今後の取り組み方針		
H27年度以降は普通教室及び特別支援教室にクラス増が見込まれ、導入率が100%を切ってしまう状況である。平等な教育環境の確保のため、27年度事業で新たに整備する予定である。また、デジタル教科書の整備も予定しているので、電子黒板の研修とともに、デジタル教科書を活用するための研修等も行っていくたい。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93,301</td><td>93,301</td><td>74,640</td><td>18,661</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	93,301	93,301	74,640	18,661	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
93,301	93,301	74,640	18,661	0										
八重瀬町 93,301千円 備品購入費 93,301千円 株式会社 オキジム 93,301千円 〔 電子黒板等整備 〕														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名競争入力で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は全体の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町							
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑧	八重瀬町少年少女人材育成交流事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア			
担当部署名	生涯学習文化課	事業実施 (予定)年度	平成26～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	教育委機械の拡充			
					Ⅲ-3			
事業内容	風土・文化の違う他県の子供たちと交流することにより、幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や集団生活を通して、規律・協調・友愛・奉仕等の精神を身につけ、心身ともに健やかな少年少女の健全育成を図る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		(a) 当初予算額	5,564					
		(b) 予算現額	5,564					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	5,564					
		B. 執行済額	5,139					
		うち交付金充当額	4,111					
		次年度繰越額						
		執行率 (%) (B/A)	92.4%					
	予算の状況の説明	当初予定していた役務費・施設使用料を対象外経費とし、借料(大型バス)を町のマイクロバスに変更したため、不用額425,000円が生じた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	生徒受入数 10人	目 標	(生徒受入数10人)	()	()	()		
		実 績	生徒受入数10人					
	生徒派遣者数 43人	目 標	(生徒派遣者数43人)	()	()	()		
		実 績	生徒派遣者数45人					
達成 状 況 説 明	交流事業を通して、沖縄にはない他県の歴史や文化、風俗、習慣等を学ぶことで幅広い視野を育み、規律・協調・友愛・奉仕等の精神を身につけることができた。事前研修で練習した郷土芸能のエイサーを交流会において披露した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)	
	生徒受入数 10人	目 標	()	(生徒受入数10人)	()	()	()	
		実 績		生徒受入数10人				
	生徒派遣者数 43人	目 標	()	(生徒派遣者数 43人)	()	()	()	
		実 績		生徒派遣者数45人				
	事後報告会を開催し、報告書を作成する。	目 標	()	(報告書作成)	()	()	()	
		実 績		報告書作成				
進 捗 状 況 説 明	成果目標である生徒受入数10人、生徒派遣者数43人、報告書の作成において、全て達成することができた。他県の子供たちと交流することで、町代表としての自覚が芽生え、コミュニケーションも積極的に行うなど、成長がみられた。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	山梨交流 ア)外出時の気温とバス・宿泊施設内の気温の変化が大きいため、体調を崩す生徒が数名いたので体調管理が必要となる。 イ)年末開催の事業のため、駅のホーム等では帰省客で混雑するので、新幹線やモノレール利用時は安全面及び人員確認が必要となる。 ウ)他県の子供たちと交流するうえで、地元八重瀬町の情報を発信する良い機会でもあるため、知っておく必要がある。	ア)各自で普段私用している薬を持参してもらう。また、保健師が同行し、体調管理を行う。 イ)総班長、副班長をはじめ各班の班長を中心に安全面の徹底を図る。(引率者も確認) ウ)事前研修及び家庭学習において、地元八重瀬町のことを勉強しておく。
今後の取り組み方針		
ア) 病歴、アレルギー等の把握及び普段使用している薬の確認や服の重ね着等の指導、保健師による体調管理を徹底していく。 イ) 時間が正確なので、素早い行動や集団行動の大切さ、安全面の確認を徹底する。 ウ) 事前研修や家庭学習はもちろん、普段の学校生活においても、八重瀬町に関連するものに興味を抱くよう指導していく。 ●H27は、特に事前研修に力を入れ、町代表としての自覚及び集団生活でのルール等の確認を徹底し、交流を深めることで幅広い視野を育み、町民の資質向上と町の活性化を図る人材を育てていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,459</td><td>5,139</td><td>4,111</td><td>1,028</td><td>1,320</td></tr> </tbody> </table> 八重瀬町 5,139千円 補助金 5,139千円 八重瀬町交流会 5,139千円 補助金 〔 旅費・印刷製本費等 〕 交流会負担分(交付対象外経費) 1,320千円 〔 食料費・消耗品費・交流会費等 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,459	5,139	4,111	1,028	1,320
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,459	5,139	4,111	1,028	1,320										
資金の流 れ、点検 評価・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、心身ともに健やかな青少年少女の人材育成を目的としている町内各種団体(八重瀬町交流会)であり、妥当であると考えられる。 ○不用額は、全体の7.6%であり、適正な規模であった。 ○食料費・消耗品費・交流会費等について受益者負担としているので妥当であると考えられる。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町							
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑨ 切磋琢磨学力パワーアップ事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(3)-ア			
担当部課名	教育委員会 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成26～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-5		
事業内容	県教育委員会の学力向上の主要施策「にぬふぁ星プランⅢ」のもと推進されてきたが、未だ全国学力・学習状況調査では全国と大きな差がある。そこで教育委員会は学力向上の下支えとなる中学生の補習補中心に本事業を行い学力向上を図る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,970					
		(b) 予算現額	14,970					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	-					
		A. 計 (b+d)	14,970					
	B. 執行済額		14,000					
	うち交付金充当額		11,200					
	次年度繰越額		-					
	執行率 (%) (B/A)		93.5%					
予算の状況の説明		・不用額が970千円発生しているが、入札残によるものであり、適正に執行済みである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	土曜講座 (平成26年6月～平成27年2月末まで)	目 標	(平成26年8月～平成27年2月)	()	()	()		
		実 績	平成26年8月～平成27年2月					
	長期休業中 20日間	目 標	(20日)	()	()	()		
		実 績	夏期講座5日 秋期講座5日					
	定期テスト前対策 2週間前 4回	目 標	(4回)	()	()	()		
実 績		0回						
達成状況説明	当初は6月開始だったが申込の状況が悪く、8月へ変更になった。土曜講座及び長期休業中講座については、学校行事等の重複や台風などで目標回数を下回った。また、定期テスト前対策については土曜講座と並行して開催したため実績は0回となっている。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	土曜講座 東風平地区120人 具志頭地区40人	目 標	()	(東風平120人 具志頭40人)	()	()	()	
		実 績		東風平447人 具志頭420人				
	長期休業中 東風平地区120人 具志頭地区40人	目 標	()	(東風平120人 具志頭40人)	()	()	()	
		実 績		東風平205人 具志頭134人				
	定期テスト前対策 2週間前 4回 東風平地区120人 具志頭地区40人	目 標	()	(4回 東風平120人 具志頭40人)	()	()	()	
		実 績		0回 東風平0人 具志頭0人				
進捗状況説明	土曜講座は8月～3月までで延べ人数867人となり、月平均で約108人と目標を下回る結果となった。要因としては、土曜日に部活があり参加できない生徒が多かったのが考えられる。長期休業中講座においては、部活を引退した3年生の参加により、大きく目標を上回った。また、定期テスト前対策については土曜講座と並行して開催したため、参加人数は0人となっている。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	申込状況が悪く、序盤は受講者が少なかったが、徐々に受講者が増加傾向にあった。また、土曜日は部活動があり参加出来ない生徒も多かった。しかし、平日の開催は、部活動の終了後となるため安全面を考えて開催するのが難しい状況である。	現状として、土曜日は部活動の練習や公式試合等により、欠席の割合が高い。平日の開催が難しいことから、次年度は土曜日の部活動を制限するなど、土曜講座の時間を増やしていきたい。
今後の取り組み方針		
『県総括目標:平成29年度までに児童生徒の学力を全国水準に高める』ために、県学力向上推進の取組と連動する形で、本町の学力向上の推進も計画的・継続的に取り組んでいる。しかし、依然、学力の定着が弱い生徒が多数いるため、学校現場の取組を支援していく取り組みの一環として、引き続き本事業の推進を継続したい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>14,000</td><td>14,000</td><td>11,200</td><td>2,800</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	14,000	14,000	11,200	2,800	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
14,000	14,000	11,200	2,800	0										
八重瀬町 14,000千円 → 委託料 14,000千円 → 一般社団法人教育振興会 14,000千円 (学習支援員として講師派遣)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名競争入力で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は全体の6.5%であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-10	渡嘉敷リーダー研修事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア		
担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成 2 6 ~ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の充実		
事業内容	風土、文化の異なる、多文化圏での活動を通し、幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や集団生活により規律・協調・友愛・奉仕等の精神を養い、心身ともにすこやかな少年少女の健全育成を図る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	891					
		(b) 予算現額	891					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	891					
	B. 執行済額		792					
	うち交付金充当額		459					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		88.9%					
予算の状況の説明		当初、計画段階で小学生の参加を136人で見込んでいたが、修学旅行・少年野球大会等とのブッキングなどがあり、小学生の参加が97人となったため、99, 000円の不用額が発生した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	渡嘉敷リーダー研修 1回実施	目 標	(1 回)	()	()	()		
		実 績	1回					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	渡嘉敷リーダー研修1回実施を活動目標とし、計画通り7月12日、13日に開催した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(25年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	研修を通し、親元を離れ自立を促し、これからの沖縄を牽引する人材育成に寄与する。	目 標	()	(人材育成に寄与)	()	()	()	
		実 績		人材育成に寄与した				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	単位子ども会ごとに4名ずつの募集をかけ渡嘉敷リーダー研修を実施。町内4小学校のうちの1つの学校のイベントと重なり、当初予定していた人数よりも少ない参加となってしまったが、研修参加者が中学生になり町ジュニアリーダークラブに入るなど、おおそ目標は達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	子ども会の会員が減少しており、地域間の連帯感も薄れていく中で、渡嘉敷リーダー研修を実施し、他小学校(他地域)との繋がりを生み出していく予定でしたが、子ども会加入者の減により不参加の単位子ども会もあった。	参加対象学年の引き下げ要望もあったので、検討していくとともに参加したくなるような魅力的なメニューづくりに配慮する。 より多くの子どもが参加できるよう実施時期を検討する。
今後の取り組み方針		
取り組み時期を現在の7月から、三学期制移行に伴い9月へ、対象学年を5年生までから4年生に引き下げる事理事会で検討し、より多くの子どもが参加出来るようにし、目標達成に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>792</td><td>575</td><td>459</td><td>116</td><td>217</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	792	575	459	116	217
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
792	575	459	116	217										
八重瀬町 575千円 補助金 575千円 八重瀬町 子ども会 育成連絡協議会 575千円 〔 渡嘉敷への旅費 貸切バス代 〕 〔 食糧費等(交付対象外経費) 217千円 〕														
資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○子どもの人材育成を目的としているので、補助先が子ども会なのは妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○今回は参加人数減のため不用額が出たが、目標人数が達成できれば適正規模の予算である。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である参加者からの負担金については、食糧費等に充てており妥当である。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については生産段階で検査を実施。必要なものであったと判断した。											

市町村名		八重瀬町					
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①		八重瀬町イベント事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ
担当部課名	企画財政課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
事業内容	観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特産物等のPR等を実施する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額	3,325	17,825	4,319		
		(b)予算現額	3,325	17,913	5,235		
		(c)増減額(b-a)	0	88	916		
		(d)繰越額	—		0		
	B. 執行済額		3,325	17,913	5,235		
		うち交付金充当額	1,281	12,968	4,211		
		次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)		90.1%	100.0%	100%		
	予算の状況の説明		やえせ桜まつりの夜間ライトアップの拡充を図り、PRの強化を行ったため予算の増額(916千円)を行った。				
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
	やえせ桜まつり開催支援	目 標	(開催支援)	(開催支援)	(開催支援)	()	
		実 績	開催実施	開催実施	開催実施		
	こいのぼりあしび	目 標	()	()	(開催支援)	()	
		実 績			開催実施		
達成状況説明	やえせ桜まつりは八重瀬公園の桜を沖縄南部桜の名所として広くPRし地域活性化に寄与した。今年度は新たな取り組みとして南部農林高校生との協働による花のモニュメントの作成や保育所園児によるシーちゃんコラボなどを行い地域内外へのPRを行った。 こいのぼりあしびでは、町内各保育所にて作成した手作りこいのぼりや各世帯で不要となったこいのぼりも加えて約1,500匹のこいのぼりを掲揚した。八重瀬町唯一のこいのぼり事業で町内外へ広くPRすることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	やえせ桜まつり	目 標	(1000)	(1000)	(5000)	(5000)	()
		実 績		3000	3000	6000	
	こいのぼりあしび	目 標	()	()	()	(2500)	()
		実 績				3000	
進捗状況説明	やえせ桜まつり実行委員会への補助 こいのぼりあしび実行委員会への補助 各事業とも事業計画に適応した補助支援ができた。八重瀬町PR事業として効果があった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○八重瀬ブランドとしてまつりを推進するために八重瀬町地域全体での受入体制の構築・支援体制を創り、来場者に気が行き届いたまつりの運営	○来場者が安心してまつりに来場できるようにわかりやすい道路アクセス等情報発信を行う。
	○外国人観光客が増加傾向にあるため、多言語パンフレット等の整備も必要	○英語はもちろん中国語等の案内ガイドの常駐の検討
	○安心・安全なまつり運営を行うために駐車場等の条件整備等も考慮する必要がある。	○来場者が訪れやすい交通アクセスの案内や整備
今後の取り組み方針		
○観光客向けのイベントとして、エイサー体験、民俗芸能体験、八重瀬まち歩き等参加型の八重瀬体験プログラムも開発し商品化の検討 ○地域活性化を促すような地域と連携した仕組み創り ○県内旅行社やホテル等と連携して誘客を行うためにツアー商品化の検討 ○外国人観光客を考慮した案内板、観光パンフレットの作成及び観光ガイドの育成の検討		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,235	4,211	3,369	842	1,023

八重瀬町
総事業費 4,211千円

補助金
4,211千円

委員会負担分(交付対象外経費)
1,023千円

やえせ桜まつり
実行委員会
3,945千円
(2,922千円)

こいのぼりあしび
実行委員会
(989千円)

八重瀬町青年エイサー
まつり実行委員会
(300千円)

やえせ桜まつり
企画運営費・広告宣伝費・会場
設営費イベント費・交通防犯対
策費等

こいのぼりあしび
企画運営費・広告宣伝費・会場設営費
イベント費等

八重瀬町青年エイサーまつり
企画運営費・広告宣伝費・会場設営費
イベント費・交通防犯対策費等

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出の選定先は、地域における協働のイベントとして実行委員の構成は地域団体関係者の委員会であり妥当である。 ○支出については見積入札等を行い適正に査定しているので予算規模として妥当であると考え。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について精査し執行しており適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-②		八重瀬町観光地美化作業事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	区画整理課 土木建設課 社会体育課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設及び観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	53,896					
		(b) 予算現額	53,896					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	53,896					
	B. 執行済額		52,216					
	うち交付金充当額		41,772					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		97%					
予算の状況の説明		・備品購入費の入札残による不用額であり、ほぼ計画通りに執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業	目 標	(2箇所)	(2箇所)	(実施)	()		
		実 績	2箇所	2箇所	実施			
						()		
達成状況説明	観光施設公園の2箇所(八重瀬公園・西部ブラザ公園)について定期的な美化清掃作業及び年間を通しての維持管理を行うことで観光客を迎入れる環境を保つことができた。 予想以上に作業量が多く思うように作業が進まなかったため目標の達成には至らなかったが、今回の反省を踏まえ観光施設公園へのアクセス道路の草刈・清掃作業に取り組み、安心して安全・快適に観光ができる環境整備に取り組んでいく。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 ・観 光 地 : 8箇所	目 標	()	(2箇所)	(2箇所)	(8箇所)	()	
		実 績		2箇所	2箇所	8箇所		
	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 ・アクセス道路 : 40路線	目 標	()	()	()	(40)	()	
		実 績				40		
	進捗状況説明	都市公園2箇所の継続的な美化清掃を行えたことにより、安心安全で沖縄らしい景観を保つことができる為イベントの開催や安定的な集客に繋がっている。しかし現場においては、作業が多岐にわたることと量が多く作業が捗らない状況もあるが、今後も引き続き美化作業に取り組み観光客が本町に安心して訪れることができる環境整備に取り組んでいく。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設及び観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。 ・6月から10月頃にかけては草の伸びが早い為、通常の作業人員では作業が間に合わないことがある。 ・数週間で雑草が繁茂するため、期間を空けず同じ箇所で行うことが多くなった。 ・作業用の道具(草刈機・替え刃・クマデ・ほうき・鎌・スコップ等)の消耗及び破損が著しい、また草刈機等の作業機械への修理費などにも経費が掛かる ・日々の業務は、過酷な肉体労働であるため、作業員の健康管理と安全面の対策が必要である。	・時期に応じての作業員の増減にて年間計画をたて対応を行う。 ・作業員への機械メンテナンス指導を行い作業道具の破損等については、修繕ができるものについてはできる限り修繕を行い消耗品費の節減を図りたい。 ・アクセス道路等の一部の箇所については、草刈作業を行った数日後に、「除草剤」を散布し、同じ箇所での作業周期の軽減を図りたい。 ・作業中の適度な休憩と作業員同士の常日頃からのコミュニケーションを作りお互いで健康状態をチェックする。 ・作業中の安全管理には、立て看板とカラーコーンを活用し、作業場の確保と必要に応じて、交通整理員を配置し作業を行う。
今後の取り組み方針		
今後も継続的な美化作業を効率的に行い、また除草作業のみにとらわれず、植栽等による美観作業にも取組みたい。 観光地としての質の向上を図るため、引き続き観光美化作業に取り組んでいく。 また、今後、観光地へのアクセス道路に緑化(草花等)装飾作業も検討していきたい。本町を含む近隣の観光地の質の向上を図るため、訪れる観光客が安心・安全で快適な満足のいく旅行ができるように観光施設及びアクセス道路などの美化作業を行う。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
八重瀬町 52,216千円	賃金 33,453千円	美化作業員	総事業費	52,216
	共済費 4,471千円		交付対象事業費	52,216
	委託費 5,500千円	八重瀬町 シルバー人材センター 5,500千円	交付金 充当額	41,772
	需用費 2,914千円		市町村 負担金	10,444
			交付対象 外経費	0
都市公園美化清掃業務委託 除草作業・トイレ清掃 都市公園美化清掃業務に係る 消耗品費 (草刈刃・軍手他) 都市公園美化清掃業務に係る 作業用機械・車輛燃料費 都市公園美化清掃業務に係る 廃棄物処分費 都市公園美化清掃業務に係る 作業用車両購入 都市公園美化清掃業務に係る 作業機械購入 (草刈機ほか)				
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法第167条第2第1項3号の規定を考慮したうえで選定を行っており妥当であると考え。 ○不用額も3%程度であり、適正な規模となっている。 ○事業目的の達成の観点から適正であると考えている。	
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。		

市町村名	八重瀬町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	八重瀬さくらのまち整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	区画整理課	事業実施(予定)年度	平成25～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	八重瀬公園を主として、町内各施設のさくらの整備、重点的な維持管理を行い、南部のさくらの名所としてアピールすることで、地域の知名度と観光地としての魅力向上を図る。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,722	5,500			
		(b) 予算現額	2,722	15,500			
		(c) 増減額 (b-a)	0	10,000			
		(d) 繰越額	—	0			
		A. 計 (b+d)	2,722	15,500			
	B. 執行済額		2,721	15,496			
	うち交付金充当額		2,176	12,397			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		当初、傾斜地の一部の樹木保護工事を計画していたが、単年度で傾斜地すべての保護工事を行うことが作業効率のアップになると判断し、そのために事業費を増額し、事業の早期実現を図った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	八重瀬公園内一円のさくらの育生保全を行う。	目標	(桜の生育管理を行う)	(さくらの育生保全を行う)	()	()	
		実績	桜の生育管理を行った	桜の育生保全を行った			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初目標どおりに、さくらの育生保全を行い、枯木の処理や剪定、施肥等の作業を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	八重瀬公園内全体のさくらの、施肥・枝打ち等育生保全を進める。	目標	()	(桜の生育管理を行う)	(桜の育生保全を行う)	()	()
		実績		施肥作業や枯木伐採を行った	桜の育生保全を行った		
	八重瀬公園内傾斜地に生育しているさくらの根元土流出保護のため、土留め壁工事を行う。	目標	()	()	(樹木保護工事の実施)	()	()
		実績			樹木保護工事を実施した		
	進捗状況説明	・傾斜地の土砂流出防止工事を進め、樹木の保護をして育生保全を図った。並行して樹木の剪定や施肥等を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成26年度は、階段沿いの傾斜地に生育するさくらの保護工事を行ったが、施行にあたっては機械の入れないような箇所があり、工事の工程上スムーズな施行ができなかった。	平成26年度の工事で階段沿いの保護工事はほぼ完了しているが、平成27年度からはスムーズな施行ができるよう検討する。また、さくらの育生保全のため次年度には散水設備工事も計画していく。
今後の取り組み方針		
平成27年度以降、保護工事及び散水設備工事を計画し、同時に育生管理のために必要な剪定・施肥等をすすめ、事業効果の確認をして必要があれば改善していく。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
15,496	15,496	12,397	3,099	0

八重瀬町
15,496 千円

工事費
15,000千円

消耗品費
496千円

(株)永土建
15,000千円

肥料・支柱等

樹木保護工事

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事は指名競争入札により執行しているため、妥当である。 ○事業費を増額し、事業の進捗を図った。予算については、ほぼ100%執行できており適正なものであったと考える。 ○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的にそって必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	破名城の郷整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	土木建設課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	破名城の浜を整備することにより、観光施設の充実を図り、町のイベントや浜での自然体験等を行うことにより観光振興につなげるため、アクセス道路や遊歩道及び海浜公園等の整備を行う。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	52,940	209,443	53,805		
		(b) 予算現額	52,940	209,443	35,008		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 18,797		
		(d) 繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	52,940	209,443	35,008		
	B. 執行済額		52,681	177,159	35,008		
	うち交付金充当額		42,144	141,727	26,426		
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		99.5%	84.6%	100%		
予算の状況の説明		・当初、具志頭浜への進入路を計画していたが、計画見直しにより補正で18,797千円を減額した。 ・変更後の事業費については、計画していた事業内容はすべて実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	遊歩道・駐車場の整備	目 標	(委託の実施)	()	(整備)	()	
		実 績	計画の策定		整備		
	用地取得	目 標	(確定測量)	(24筆)	(取得)	()	
		実 績	用地の確定	20筆	取得		
	達成状況説明	既設遊歩道から具志頭部落への遊歩道及び、用地取得の完了。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	遊歩道の整備 L=610m	目 標	()	()	(L=610m)	L=795m	
		実 績			L=275m		
	駐車場の整備	目 標	()		(整備)	()	
		実 績			整備		
	用地取得	目 標	()		(取得)	()	
		実 績			取得		
	進捗状況説明	駐車場の整備A=175㎡の完了。遊歩道の整備L=275mの完了。 整備済みの箇所については、供用開始を行い、平成27年度も引き続き遊歩道の整備を行う。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 関係機関等との調整や地権者の同意が得られたことにより事業実施が年度内に執行できた。 平成26年完成分の遊歩道については、供用を開始した。 利用者の利便性向上のため、給水やトイレの設置が必要である。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 土地の権利関係や関係機関との調整を密にし、事業の執行を図る。 トイレ等の充実を図る必要がある。 遊歩道の安全面の確保。
	今後の取り組み方針 供用開始されているアクセス道路や遊歩道については、体験学習や民泊の受入れ、観光客の集客を図る。 また、具志頭浜までの遊歩道整備及び、給水工事を行い、トイレ、管理棟の施設を完成させ、利用者の増を図る。	

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
35,008	35,008	26,426	8,582	0

八重瀬町

35,008千円

需用費

1千円

→ 印紙代

役務費

43千円

→ 43千円
(株) 沖縄不動産総合鑑定所

玻名城の郷整備事業意見評価業務

委託料

8,505千円

→ 1,759千円
(有) 新技術開発

文化財発掘調査委託業務

→ 220千円
(有) 新技術開発

遊歩道建設資材調査委託業務

→ 6,526千円
(有) 新技術開発

遊歩道測量設計委託業務

工事費

25,854千円

→ 25,854千円
常成開発

遊歩道整備工事

公有財産購入費

605千円

→ 用地購入 2筆

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○委託業務は設計書を元に指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○事業計画の見直しはあったが、不用額はなく適正な規模であった。 ○費目・使途については事業成果(納品)の提出、及び完了検査において適正であった。

市町村名	八重瀬町							
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑤	八重瀬まちあるきブック作成委託事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア		
担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活かしたまちづくり			
事業内容	八重瀬町には旧石器時代の人骨「港川人」の出土地「港川フィッシャー遺跡」、県内の村落獅子として最大最古の「富盛の石彫大獅子」をはじめ、100種類を超える植物が生息する「具志頭遊歩道」など多くの観光資源を有している。町の魅力をアピールし観光客の誘致を図ることを目的に「まちあるきマップ」を作成し配布する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,940					
		(b)予算現額	2,940					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額	0					
		A.計(b+d)	2,940					
	B.執行済額		2,430					
	うち交付金充当額		1,944					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		82.7%					
予算の状況の説明		不用額が510千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	まちあるきマップ作成	目標	(作成)					
		実績	作成					
		目標						
		実績						
達成状況説明	20,000部を作成し、町内の店舗や県内の博物館や観光施設等に配布した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		26年度	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	まち歩きマップ配布 町内公共機関等 1,000部 町内観光施設・飲食店 9,000部 町内でまち歩きする観光客 10,000部	目標	(1,000部 9,000部 10,000部)					
		実績	1,000部 9,000部 10,000部					
		目標	()					
		実績						
	進捗状況説明	八重瀬町内を歩いて回るコース、5コースを開発し『やえせまち歩きぶっく』で紹介することができた。まち歩きを開催し、八重瀬町ガイドの会会員がガイドとして2コースを案内した。計20人の参加があり、八重瀬町の魅力を発信することができた。「具志頭遊歩道」の愛称を募集し「ホロホローの森」としてまち歩きのコースに組みこんだ。親しみやすい愛称になったことで、町内外から「歩いてみたい」という問い合わせが増えた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 八重瀬町には多くの史跡や自然など観光資源を有しているが、これらは町外での認知度が低く、せっかくの観光資源が活用されていない現状がある。 観光客の誘致及び地域の活性化を図るためにガイドが観光客とともに歩きながら観光資源を案内することで、観光資源の活用促進を図る。 『やえせまち歩きぶっく』を作成し町内を歩いて回る、5コースの開発を行った。 史跡等を中心としたコース策定に時間を要した。 ガイドポイント内の雑草などが目立つ。 定期的に「まち歩き」を開催し、町内の観光資源の認知度を高める必要がある。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 開発した5コース以外にも引き続き新たなコースの開発を行う必要がある。 「まち歩き」開催の広報活動を効果的に行うために努力する必要がある。 観光美化作業との連携で、まち歩きのポイントの美化環境保全も活用していく。
	今後の取り組み方針 27年度以降は、月に2回各コースをガイドが案内する「まち歩き」を継続的に行うガイドの育成講座を開催し、ガイドを行う八重瀬町ガイドの会の会員を増やしていく。	

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
2,430	2,430	1,944	486	0

八重瀬町
2,430千円

→

委託料
 光文堂コミュニケーションズ
 株式会社

 2,430千円

{

『やえせまち歩きぶっく』の作成
 20,000部

}

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
○		支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務については指名競争入札で執行したので妥当である ○予算は仕様書通り積算しマップ作成について適した規模であった。 ○費目・使途は事業目的に即しマップ作成、配布に限定されている。
○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
—		受益者との負担関係は妥当であるか。	
○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑥	八重瀬町コンビニAED設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備			
事業内容	災害時等において、住民や本町を訪れる観光客等に重篤な傷病者が発生した場合に、その場に居合わせた方がAEDを利用して救急措置が行えるようにするため、町内で24時間営業しているコンビニエンスストアへAEDを設置する。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,694					
		(b) 予算現額	5,333					
		(c) 増減額 (b-a)	1,639					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	5,333					
	B. 執行済額		5,130					
	うち交付金充当額		4,104					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		96.2%					
予算の状況の説明		AEDを使用するため、日々のセルフテスト結果の確認や、パッド、バッテリーなどの消耗品の適切な管理が必要であることから、これらをリモートで監視し安全に使用できるよう、当初予定していた機種から変更するため、備品購入費を1,639千円増額とした。計画していた事業内容はすべて実施し、順調に執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	町内の全コンビニへの設置(10箇所)	目 標	(AED設置(10台))	()	()	()		
		実 績	AED設置(10台)					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	災害時等において、住民や本町を訪れる観光客等に重篤な傷病者が発生した場合に、その場に居合わせた方がAEDを利用して救急措置が行えるようにするため、町内で24時間営業しているコンビニエンスストアへAEDを設置した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	整備率:100%	目 標	()	(100%)	()	()	()	
		実 績		100%				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	24時間営業している町内のコンビニエンスストアへAEDを設置することで、これまで課題とされていた夜間、休日等におけるAEDの使用ができないことを回避できたと考えられる。店舗周辺で重篤な傷病者が発生した場合に救急車が到着するまでの救急措置が行える救護体制の強化が図れ、住民や本町を訪れる観光客等の安心・安全への取組を行っている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	これまで課題とされていた夜間、休日等におけるAEDの使用ができないことを回避するため、24時間営業している町内のコンビニエンスストアへAEDを設置し、災害時等において、店舗周辺での重篤な傷病者が発生した場合に救急措置が行える救護体制を強化し、住民や本町を訪れる観光客等の安心・安全への取組が図れた。 AEDの設置によって、傷病者等が発生した場合における救急措置が24時間体制で行える環境を整えたが、使用する方が躊躇なくAEDを使用していただけるかが今後の課題である。 コンビニ事業が展開されるな中で、新規店舗の開店が予想されるため、コンビニ側との早期調整が必要である。	AEDの使用について、使用する方が自信をもって操作できるようにAED使用を取り入れた救急蘇生講習会等の実施をしていく。 コンビニの新規店舗の開店情報の共有に努め、AEDの設置導入を継続する必要がある。

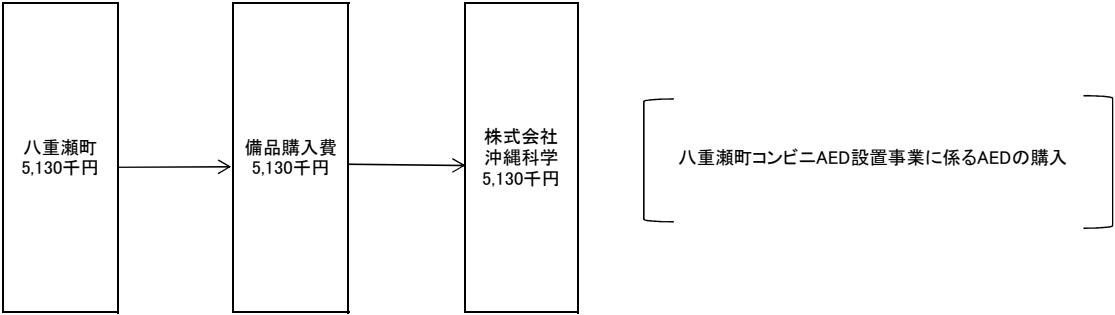
AEDの使用については、操作時に流れてくる音声ガイダンスに従って使用すれば難なく使えるが、救急措置を行うことに自信のない人や不安な人がいると思われることから、今後、その解消策として、AED使用取り入れた救急蘇生講習会等を実施していく。

コンビニ事業が展開されていく中で、新規店舗の開店が予想されるが、町民及び観光客等の安心・安全を図るためAEDの設置導入を継続していく。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
5,130	5,130	4,104	1,026	0



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 購入先業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 費目、使途については、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		八重瀬町							
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		2-⑦		八重瀬町戦跡整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名		企画財政課		事業実施 (予定)年度		平成25～27年度		観光客受入体制の整備	
						沖縄振興基本方針 該当箇所		Ⅲ-10-(2)	
事業内容		八重瀬町の地域資源を活用するため、町内で確認されている戦争遺跡を整備し歴史・平和学習等へ活用する。							
実施方法		■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)				25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度	
		予算 の 状 況	(a) 当初予算額	107,242	86,403	45,100			
			(b) 予算現額	107,242	86,403	60,100			
			(c) 増減額(b-a)	0	0	15,000			
			(d) 繰越額	—					
			A. 計(b+d)	107,242	86,403	60,100			
		B. 執行済額		20,839	75,910	56,146			
		うち交付金充当額		16,670	60,727	44,916			
		次年度繰越額		86,403	0	0			
		執行率(%) (B/A)		19.4%	87.9%	93%			
予算の状況の説明		平成26年度は、戦跡(ヌマチガマ)周辺に駐車場及びトイレ等を整備したものである。 不用額3,954千円については、工事及び委託業務の入札残等によるものである。							
活動目標 (指標) 及び達成状況		H26活動目標(指標)		達成状況					
				25年度	26年度	27年度	28年度		
		駐車場及びトイレ等の整備工事の実施	目 標	(調査測量、実施設計及び用地購入)	(トイレ・駐車場等の整備工事の実施)	()	()		
			実 績	調査測量、実施設計及び用地購入	トイレ・駐車場等の整備工事の実施				
			目 標	()	()	()	()		
			実 績						
達成状況説明		戦跡整備区域の土地のほとんどが民有地で、駐車場及びトイレもなく不便をきたしている状況であったが、戦跡周辺を整備することにより、利便性の向上(受入体制の整備)を図ることができた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況		H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)	
		手洗い場及びトイレ設置	目 標	()	(調査測量、実施設計及び用地購入)	(トイレ・駐車場等の整備)	()	()	
			実 績		調査測量、実施設計及び用地購入	トイレ・駐車場等の整備			
		駐車場の整備 (大型バス4台、普通乗用車4台、障害者用1台)	目 標	()	()	(大型バス4台 普通乗用車4台 障害者用1台)	()	()	
			実 績			大型バス2台 普通乗用車2台 障害者用1台			
		進捗状況説明		平成26年度事業でトイレ・駐車場等を整備した。大型バス2台、普通乗用車2台、障害者用1台の駐車場整備により利便性の向上(受入体制の整備)を図ることができたが、今後は、戦跡を適切に保存、活用する観点から、ヌマチガマ(入口)～ガラビ壕(出口)にかけての遊歩道等を整備する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業は、平成25年度から事業を開始し、鋭意、関係地権者等の理解を得ながら用地買収を進めてきたところであるが、一部の地権者の理解が得られない状況となっている。 今後は、戦跡を適切に保存及び活用するためには、関係地権者の理解を得て事業を推進する必要がある。	本事業を推進するため、未同意地権者の理解を得るべく鋭意、用地交渉を継続していかねばならない。
今後の取り組み方針		
平成26年度事業で実施した、トイレ、駐車場等、整備済みの施設については、供用を開始しているところであるが、今後は、事業を遅滞なく完了させ、戦跡の適切な保存及び活用を図るため、用地買収及び周辺整備を推進する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
八重瀬町 56,146千円 需要費 100千円 (有)オフィスパートナー 100千円 (消耗品購入(事務用品)) 委託費 1,530千円 屋プランニング 842千円 (有)アース探査 688千円 (戦跡施設建築工事監理業) (戦跡整備磁気探査業務) 工事請負費 54,516千円 常成開発 22,011千円 (有)仲座建設 32,505千円 (戦跡施設整備工事) (戦跡施設建築工事)				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	56,146	56,146	44,916	11,230
				交付対象外経費
				0
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は7%程度であり、事業内容及び執行状況に見合った、適正な予算規模であったと考えている。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	八重瀬町							
平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑧	便益施設等整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－(ウ)		
担当部課名	区画整理課	事業実施（予定）年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備			
事業内容	南部地区の通過ルートにもある富盛地区において便益施設等がないため、集落内の既設公園内に公衆トイレ及び休養スペースを設置するとともに公園施設の機能向上を図り、地域観光の振興を図る。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	26,100					
		(b) 予算現額	26,100					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	26,100					
	B. 執行済額		26,098					
	うち交付金充当額		20,878					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初の計画していた事業内容はすべて実施しており、適正な予算執行であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況					
				26年度	27年度	28年度	29年度	
	便益施設（便所、日除ベンチ、防球フェンス）の設計、整備	目 標	実施設計整備工事					
		実 績	実施設計整備工事					
		目 標						
		実 績						
達成状況説明	計画目標通り、トイレ・休憩所（日除ベンチ）・防球フェンス・案内看板の整備を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）			26年度	27年度	28年度	29年度	目標値（年度）
	トイレ利用による観光客の地域への誘致、休憩スペース、防球ネット整備によりスポーツ大会会場での利用客増加が見込め、案内看板の設置により地域観光への案内、誘致を図ることができる。年間利用見込み者数：8,000名	目 標	（ 8000名 ）					
		実 績	（ 6000名 ）					
		目 標						
		実 績						
	進捗状況説明	成果目標に対しては目標を達成することができなかった。 要因としては、整備工事が年度末に完了したことにより使用できない状況であった為、例年通りの利用者のみであった。 今後は、案内標識設置及びスポーツ大会等による利用者の増加が見込まれる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(実施背景) 観光ルートでもある富盛地区には、県指定有形民俗文化財(富盛の石彫大獅子)等をはじめとする観光資源および、観光ルートである国道・県道沿いにはトイレ等の便益施設があまりなく町内を訪れる観光客に不便をきたしている状況である為、施設整備を行った。 (取組み内容) 観光客誘致の為に、国道への案内看板設置を行い、また公園内には周辺観光地図看板の設置を行った。 (課題) 施設の認知度が低いため、限定的な利用者となっている。 利用者が増えた場合に駐車スペースの確保が懸念される。	認知度を上げる為、積極的なイベントの誘致を行う。 仮設駐車場として施設周辺の休有地等の利用を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
指定管理者である自治会と連携を図りながら、施設の周知及び、イベントの開催を行い、また施設の利用状況等を踏まえて維持管理を行っていく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26,098</td><td>26,098</td><td>20,878</td><td>5,220</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	26,098	26,098	20,878	5,220	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
26,098	26,098	20,878	5,220	0										
八重瀬町 26,098千円 委託料 1,231千円 野原設計 1,231千円 〔 便益施設等実施設計監理に係る業務 〕 工事請負費 24,867千円 有限会社平良建設 24,867千円 〔 便益施設整備工事に係る業務 〕														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業目的達成及び、移動円滑化の観点等を考慮し必要である施設規模を十分検討した規模となっている為、妥当だと考える。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものの等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		八重瀬町						
平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑨	コミュニティFM放送エリア等事前調査検討事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（2）－ウ			
担当部課名	まちづくり計画課	事業実施 （予定）年度	平成26年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備			
					Ⅲ－1－（1）			
事業内容	観光情報、町内のイベント情報、地震や台風等の緊急時には災害情報等を提供する事を目的に、八重瀬町におけるコミュニティFM放送局開設の実現性に向けて、送信所・演奏所（スタジオ）の設置箇所や放送エリア等の事前調査を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	2,018					
		(b) 予算現額	2,018					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	2,018					
	B. 執行済額		1,825					
	うち交付金充当額		1,460					
	次年度繰越額							
	執行率（％）(B/A)		90%					
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施し、予算を適正に執行出来た。 不用額193千円については委託の入札残によるものである。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況					
	コミュニティFM放送エリア等の事前調査		26年度	27年度	28年度	29年度		
		目 標	（ コミュニティFM放送 エリア等の事前調査 ）					
		実 績	コミュニティFM放送 エリア等の事前調査					
		目 標	（					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業実施自体は特に課題は無いが、5カ所ある送信候補地の1つに民間企業が所有する建物があるため、今後送信所として決定した場合は、設置箇所や建物管理について協議する必要がある。	コミュニティFM放送局を運営する事業者を選定し、設置箇所や建物管理について協議を行う。
今後の取り組み方針		
コミュニティFM放送局開設に向けて、事前調査業務報告書の結果を踏まえ、運営事業者の募集、送信所・演奏所(スタジオ)の設備整備や施設整備を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,825</td><td>1,825</td><td>1,460</td><td>365</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,825	1,825	1,460	365	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,825	1,825	1,460	365	0										
八重瀬町 1,825千円 委託料 1,825千円 株式会社 エヌエイチケイアイテック 1,825千円 コミュニティFM放送エリア等の事前調査にかかる委託業務														
資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務については指名競争入札で執行したので妥当である ○不用額は事業費の10%以内であり適正な規模であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については、報告書等を精査し、事業目的に即し必要なものであった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑩		運動公園施設等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－（1）－イ	
担当部課名	教育委員会　社会体育課		事業実施（予定）年度	平成25～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ－1－（1）	
事業内容	プロチーム・大学のキャンプでも利用されるサッカー場・野球場・ソフトボール場等の施設を整備しハイレベルな練習環境を整え、スポーツツーリズムの振興を図る。						
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,571	9,247			
		(b) 予算現額	14,306	12,504			
		(c) 増減額 (b-a)	3,735	3,257			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	14,306	12,504			
	B. 執行済額		14,233	12,478			
	うち交付金充当額		11,386	9,983			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（％）(B/A)		99.5%	99.8%			
予算の状況の説明		野球バックネットの大きさを利用者等の要望、意見聴取により、当初計画から一回り大きくしたため、予算が増額となった。 不用額26千円については入札残によるものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	野球バックネット整備	目 標	()	(1基)			
		実 績		1基			
	芝生整備	目 標	(1カ所)	(1カ所)			
		実 績	1カ所	1カ所			
達成状況説明	・具志頭多目的広場へ野球バックネットを設置し、キャンプ受け入れ環境を改善した。 ・東風平運動公園野球場へ黒土を投入し内野部分の土の厚みを増やし、機能強化を実施した。 ・東風平運動公園サッカー場へ冬芝の種子をまき、肥料、砂等を散布し芝生の育成を行いキャンプ受け入れ環境を整備した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値 （24年度）	25年度	26年度	27年度	目標値 （29年度）
	県外より野球チーム（2チーム）、サッカーチーム（2チーム）のスポーツキャンプを受入	目 標	(2チーム)	(3チーム)	(4チーム)	()	(6チーム)
		実 績		7	6		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	県外からのスポーツキャンプ誘致の目標を野球2チーム、サッカー2チームを見込んでいたが、今年は野球2チーム、サッカー4チーム、計6チームのキャンプ開催があり、目標は達成できた。キャンプの他にもプロ野球、サッカー選手の自主トレも4件行われ、キャンプ以外の利用形態も増えてきている。以上、本事業により、町内外より多数の見学者が訪れており、周辺の商店、飲食店も客足が増え経済効果もでている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(ア)プロスポーツキャンプを継続するには芝生、グラウンド、備品等を最良の状態に維持していかなければならないため、毎年度、一定の整備費が必要となる。	(ア)毎年、芝生、グラウンド、備品等を最良の状態に維持するため、委託事業等を導入していきたい。
	(イ)人気チームのスポーツキャンプには、多数の見学者が訪れるため、渋滞や路上駐車が発生する。	(イ)警備委託等で見学者の整理誘導を行い、渋滞や路上駐車解消に努めていきたい。
	(ウ)サッカーキャンプは開催決定から実施までの期間が短いため、PR活動等が十分に行えない。PR活動の充実は、さらなる観光客の呼び込みをするうえで重要である。	(ウ)十分な受入れ体制を確保するため、積極的に誘致活動を行い、早い時期にキャンプ開催決定を促す。
今後の取り組み方針		
○運動公園施設等整備事業を継続して実施し、野球キャンプでは内野黒土の補充及び整備、サッカーキャンプでは芝生の育成管理を継続して行うため、専門業者への委託事業を実施していく。 ○「スポーツキャンプ誘致事業」と連携し以下の取り組みを行っていく。 ・警備委託(渋滞解消、安全確保の対策) ・スポーツキャンプ用の備品購入 ・キャンプ継続のための誘致活動 ・本拠地への応援ツアー等の交流活動 ・さらなる観光客を呼び込むためのPR活動		

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
12,478	12,478	9,983	2,495	0

```

graph LR
    A[八重瀬町教育委員会  
12,478千円] --> B[工事費  
10,206千円]
    A --> C[原材料費  
779千円]
    A --> D[需用費  
1,493千円]
    B --> E["(株)リュウロード  
9,072千円"]
    B --> F["(有)曙開発  
1,134千円"]
    C --> G["(株)屋我商会  
114千円"]
    C --> H["東洋メンテナンス(株)  
665千円+1,493千円"]
    D --> H
    
```

The flowchart details the following expenditures:

- 工事費 (Construction Costs):** 10,206 thousand yen
 - (株)リュウロード (Ryurodo Co., Ltd.): 9,072 thousand yen (具志頭運動公園 多目的広場 バックネット設置工事)
 - (有)曙開発 (Shurikaihatsu): 1,134 thousand yen (平成26年度 東風平運動公園 野球場 グラウンド整備工事)
- 原材料費 (Material Costs):** 779 thousand yen
 - (株)屋我商会 (Yagai Shoukaikai): 114 thousand yen (同上)
 - 東洋メンテナンス(株) (Toyo Maintenance Co., Ltd.): 665 thousand yen + 1,493 thousand yen (東風平運動公園 サッカー場 芝生整備用資材)
- 需用費 (Consumables):** 1,493 thousand yen (同上)

市町村名	八重瀬町							
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑪	八重瀬町サッカーキャンプ事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)(14)		
担当部課名	教育委員会 社会体育課	事業実施(予定)年度	平成26～30年度	沖縄振興基本方針該当箇所		第3章-5-(6)(3)		
事業内容	サッカーJリーグピククラブチームキャンプの誘致活動を行う。サッカーキャンプで県内外から誘客を行い、観光関連事業創出事業につなげる。サッカースクール等の交流事業やスポーツ活動拠点「八重瀬町」を町内外に積極的に情報発信を行う広報事業等を関係団体と連携を図りながら進めていきます。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	895					
		(b)予算現額	4,441					
		(c)増減額(b-a)	3,546					
		(d)繰越額						
		A. 計(b+d)	4,441					
	B. 執行済額		2,885					
	うち交付金充当額		2,308					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		65%					
予算の状況の説明		消耗品、警備委託料が観客動員が見込みより少なく執行率が低くなった。備品購入費も競争入札により見積額よりかなり低くなったのが執行率を落とした原因となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	・Jリーグチームの誘致活動	目 標	(活動実施)	()	()	()		
		実 績	活動実施					
	・地域交流 ・イベント開催、参加	目 標	(交流実施)	()	()	()		
		実 績	交流実施					
達成状況説明	・J1リーグ1チーム、J2リーグ2チーム来町し、目標の3チームは達成したが訪問誘致をしたチームが成績不振で来町できなくなり、目標の来客人数が達成できなかった。また、日本代表クラス選手の自主トレーニングも実施したが秘密練習等の規制があり、来客増にはつながらなかった。地域交流に関してはジュニア(町内小学生)チームとの交流等では子どもたちにとっては励みになり事業効果は得られたと思う。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	・Jチーム3チーム以上の誘致 ・地域交流:サッカースクール町内小学生50名 ・イベント:ファン感謝まつり等開催 ・キャンプ来客数:8,000人	目 標	() ()	3チーム50人開催8000人				
		実 績		3チーム未実施未実施1000人				
	【参考指標】平成25年度がJ1リーグ2チーム、J3リーグ1チームの計3チーム、来客数が10,000人であった。	目 標	() ()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	県との連携で目標の3チーム誘致を達成できたが多くの観客動員を見込めるチームの誘致はできなかった。訪問誘致活動に関しては積極的に行うことで可能性が広がることが実感できた。チーム単位のキャンプだけではなくネットワークを広げ、自主トレーニングも積極的に行う必要性も感じた。サッカースクールは開催できなかったが小学生チームとの交流会はできた。イベント「やえせさくら祭り」への参加を促したが日程調整ができず実施ができなかった。キャンプ期間の延長、トレーニングマッチの開催など多くの誘客につながる方法を検討、サッカーキャンプだけではなく他の観光関連事業との情報共有も行き、更なる事業効果につなげたい。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	八重瀬町東風平サッカー場は沖縄県内では数少ない専用のサッカー場で、交通アクセスもよく、空港・近隣市町の宿泊先からも利用しやすい環境となっており、キャンプ誘致には好条件となっています。そのような背景から平成25年度からはJ1サッカーキャンプ誘致活動に取り組みました。平成26年度は前年度に来町したJ1リーグ1チームに絞り誘致活動を行いました但成績不振の理由で来町することができませんでした。県と連携し、他のチームにご利用いただきましたが来客数は見込みより下回りました。地域交流に関してはキャンプ期間が短いこと等の理由で計画した取組みができませんでした。	・特定チームのキャンプ開催が実施できるまでは誘致活動は複数のチーム対象に継続して行う必要がある。 ・地域住民のニーズのあった地域交流の方法を模索・検討し、現在よりも長い期間、開催できるような環境づくりを行う必要がある。
今後の取り組み方針		
県と調整して誘致するチームを検証・決定し、継続して誘致活動を推進する。また、キャンプ期間を長期化できるような取り組みを県と近隣開催市町村と連携して取り組む。地域交流の方法として住民のニーズにあった交流の方法を模索・検討を行う。		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		2,885	2,885	1,828	1,057	0

八重瀬町

2, 885千円

旅費

216千円

町長・教育長・担当2名 合計4名

216千円

〔キャンプ誘致訪問旅費〕

需用費

279千円

〔消耗品費〕

委託費

708千円

琉球警備保障株式会社

299千円

〔キャンプ時の臨時警備〕

有限会社 糸工房

409千円

〔観光用顔出しパネル作成業務〕

備品購入費

1, 682千円

有限会社 オリンピア運動具店

1, 682千円

〔サッカーキャンプ用トレーニング用具〕

資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入費事業は一般競争入力で選定、委託業務は見積競争入力で選定しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○サッカーキャンプは不定着な状況で先が読めないことが多く、参加チーム・来客数によっては予算が不足することもあるので予算規模は適正であると判断した。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

〔キャンプ誘致訪問旅費〕

〔 〕

〔キャンプ時の臨時警備〕

〔観光用顔出しパネル作成業務〕

〔サッカーキャンプ用トレーニング用具〕

市町村名	八重瀬町						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-12	八重瀬町観光拠点施設周辺活用基本構想検討事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	まちづくり計画課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	八重瀬町観光拠点施設周辺の立地条件を生かした、観光活用構想の作成と、拠点施設等の細部検討を実施する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,600				
		(b) 予算現額	2,245				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 355				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	2,245				
	B. 執行済額		2,245				
	うち交付金充当額		1,795				
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100%				
予算の状況の説明		予算減額 355千円は入札残により生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	八重瀬町観光拠点施設周辺の活用可能性を調査・検討し、観光拠点施設の細部についても検討を行う。	目 標	(調査・検討の実施)				
		実 績	調査・検討の実施				
		目 標	()				
		実 績					
達成状況説明	各種検討委員会、町民意見の募集等により「八重瀬町観光拠点施設周辺活用基本構想」を策定することができた。又、観光拠点施設管理者募集に向け、公募要項の作成を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		26年度	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	八重瀬町観光拠点施設周辺活用基本構想の作成	目 標	(基本構想の策定)				
		実 績	基本構想の策定				
	公募要項の作成	目 標	(公募要項の作成)				
		実 績	公募要項の作成				
	進捗状況説明	基本構想の策定、公募要項を作成し、成果目標を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①八重瀬町観光拠点施設建設予定地周辺における、地域資源の把握により、観光に活用できる事が認識され、基本構想としてまとめる事ができた。 ②観光拠点施設管理候補者募集に向け、公募要項の作成を行った。	基本構想をまとめるうえで、活用可能な資源が埋もれている事が認識できた、今後も、ある資源を有効に活用できるよう検討をする必要がある。
今後の取り組み方針		
①基本構想を基に、観光拠点施設と連携した運営計画、施設整備、保全に向け、各種施策に取り組む必要がある。 ②公募要項を基に、観光拠点施設管理候補者決定に向け、手続きを開始する。 ③本町の観光を推進する観光インフォメーション、特産品等の販売、体験型・交流型観光推進等の機能を兼ね備えた、観光拠点施設の基本・実施設計に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		2,245	2,245	0
			交付金充当額	市町村負担金
			1,795	450
八重瀬町 2,245千円 報酬費 139千円 委託費 2,106千円 委員報酬(7名) 139千円 株式会社 国建 2,106千円 〔検討委員会報酬(5回開催)〕 〔八重瀬町観光拠点施設周辺活用〕				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○報酬は、条例に準じて支出しており、問題ないと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託費については、指名競争入札により執行しており、妥当と考えている。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○執行率は100%であり、適正な予算規模であったと考えている。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は事業目的に即し、必要なものに限定されている	

市町村名	八重瀬町							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-13	八重瀬町スポーツコンベンション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部署名	社会体育課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)			
事業内容	八重瀬町の充実した体育施設の情報を発信し、スポーツコンベンションを充実させる為、体育施設のパフレットを作成する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,301					
		(b)予算現額	1,301					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額	0					
		A.計(b+d)	1,301					
	B.執行済額		1,166					
	うち交付金充当額		933					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		90%					
予算の状況の説明		不用額135千円は委託の入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	・パンフレット配布 200部	目 標	(200部)	()	()	()		
		実 績	327部					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	・パンフレットを制作し、プロサッカーチーム、県外大学、沖縄コンベンションビューローへ327部配布した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		26年度	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	キャンプ誘致 1チーム	目 標	(1チーム)					
		実 績	1チーム					
		目 標	()					
		実 績						
	進捗状況説明	・プロサッカーチームや県外大学へ27冊配布。 ・町内体育施設や沖縄コンベンションビューローへ300冊配布。 ・残り部数(173冊)は来客者への配布用 ・県外大学チームの誘致に成功。千葉県城西国際大学サッカー部						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・以前より、キャンプを行うプロチームや旅行会社から町全体の体育施設のパンフレットが欲しいとの要望が多数有った。プロチームにおいてはキャンプの予算取り資料としての活用や、旅行会社においては大学生等の沖縄キャンプを募る際に施設を写真で説明出来るのでは是非作成してほしいとの事だった。その為パンフレットの作成に実施した。	・施設の改善や新築があった場合に、パンフレットの作成が必要になる
今後の取り組み方針		
・パンフレット配布先のプロチームの訪問やキャンプを誘致する事により、観光客の来町につなげ、かつ、プロ選手による少年少女の教室を開催することによって青少年の健全育成に繋がる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,166</td><td>1,166</td><td>933</td><td>233</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,166	1,166	933	233	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,166	1,166	933	233	0										
八重瀬町 1, 166千円 → 委託費 1, 166千円 → ㈱東洋企画印刷 1, 166千円 〔パンフレット作成委託費〕														
資金の流 れ、費 目・使 途の 点検 ・評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は入札残であり適正な規模であった。 ○受益者なし ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町									
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	2-14		富盛石彫大獅子周辺整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	生涯学習文化課		事業実施 (予定)年度	平成24～27年度			沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備		
								Ⅲ-1-(1)		
事業内容	沖縄県指定有形民俗文化財で県の村落獅子として最大で最古である富盛の石彫大獅子が鎮座する勢理城(ジリグスク)の整備測量設計委託業務を行う。									
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度			
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	4,601	4,051	2,700					
		(b)予算現額	4,601	4,051	2,700					
		(c)増減額(b-a)	0	0	0					
		(d)繰越額	0	0	0					
		A. 計(b+d)	4,601	4,051	2,700					
	B. 執行済額		400	3,916	2,592					
	うち交付金充当額		300	3,133	2,073					
	次年度繰越額		4,201	0						
	執行率(%) (B/A)		8.7%	96.7%	96%					
予算の状況の説明		予算減額。不用額108千円については委託業務の入札残によるものである。								
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況							
				26年度	27年度	28年度	29年度			
	勢理城(ジリグスク)整備測量設計委託の実施	目 標	(整備測量設計)				()			
		実 績	整備測量設計の完了							
		目 標	() () () ()							
		実 績								
達成 状 況 説 明	勢理城の整備測量設計委託業務を行った。測量業務は周辺の土地の確認や地質調査なども行っている。設計業務は現在破損している階段及び転落防止柵の設置や、見学者が利用するための駐車場整備に対する設計業務を行った。									
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)			
	勢理城(ジリグスク)整備測量設計委託完了	目 標	() (整備測量設計の実施)							
		実 績		整備測量設計の完了						
		目 標	() ()							
		実 績								
	進捗 状 況 説 明	勢理城整備測量設計委託業務により、整備予定地の状況や、今後予定する駐車場や階段、転落防止柵の設置等の整備のための設計図の作成をすることができた。								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	●近年、一般の観光客のほか、町内のガイドによる案内地として利用されており、見学者や案内を行う方々が安心して利用できるような整備が必要。 ●土地は地元、場所は遺跡、土地内に鎮座する石獅子は沖縄県指定有形民俗文化財となっており、調整は慎重に行わなければならない。	●地元より必要最低限の整備を行い、石獅子周辺の素朴な雰囲気壊さないようにとの指摘を受けている。 ●富盛の石獅子は県指定の文化財のため随時県との調整も必要。
今後の取り組み方針		
26年度までに行った用地購入、整備測量設計業務を踏まえ、27年度以降に整備工事を行う。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,592</td><td>2,592</td><td>2,073</td><td>519</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,592	2,592	2,073	519	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,592	2,592	2,073	519	0										
八重瀬町 2592千円 → 委託料 2,592千円 → 株式会社大協測量設計 2,592千円 (勢理城整備測量設計委託業務)														
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
資金の流 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○受益者はなし ○費目・用途は事業目的に即し必要経費である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	八重瀬町観光資源ブランド開発に関する事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ	
担当部課名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成 Ⅲ-1-(4)	
事業内容	本町の地域資源を魅力ある観光資源として提供するために、地域資源の調査・掘り起こし、そして魅力を伝えるための観光資源の安心・安全なプログラム化、ガイドの育成を図る。さらに八重瀬観光ブランドの戦略構想を計画しその集大成として観光イベントを実施する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	10,000	10,000	19,684		
		(b) 予算現額	9,993	9,888	16,495		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 7	▲ 112	▲ 3,189		
		(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		9,993	9,888	16,495		
	B. 執行済額		9,993	9,888	14,393		
	うち交付金充当額		7,994	7,910	11,514		
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	87%		
予算の状況の説明		平成26年4月より事業執行の積算で当初予算編成していたが、7月に見積聴取を行ったところ予算との差額が生じた。また、完了検査において事業執行を精査したところ不用が生じた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光先進地リーダーの招聘 3回	目 標	(14回)	(3回)	(3回)	()	
		実 績	14回	3回	2回		
	県外観光プロモーション 2回	目 標	()	(2回)	(2回)	()	
		実 績		2回	2回		
	体験フェスティバル 1回	目 標	(1回)	(1回)	(1回)	()	
		実 績	1回	1回	1回		
	達成 状況 説明	これまで観光産業が無く、宿泊施設も少ないため素通りであった八重瀬町において、本事業で八重瀬町内の地域資源を有機的につなぎ合わせ、ガイドとの連携の仕組みを創ることにより本町観光振興基本計画に掲げる「まるごと八重瀬ミュージアム構想」の芽だしを創り上げることができた。また、これらを包括的に八重瀬町ブランドとして町内外県外へ広く発信することで八重瀬町民の誇りの醸成、八重瀬町の認知度の向上に繋げ「通過するだけの」現状から、沖縄県本島南部の中央に位置する利便性を活かし滞在型観光地を目指した。					
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度
講演会:3回 安全マニュアル作成		目 標	()			講演会 3回 安全マニュアル作成	()
		実 績				講演会 4回 体験安全マニュアル作成	
【参考指標】 地域アンケート 1回 多言語版観光パンフレット作成 10,000部 まちあるき 4コース作成 体験フェスティバル体験者数 684名		目 標	()			()	()
		実 績					
進 捗 状 況 説 明		八重瀬町において、これまで観光資源として活用していなかった沖縄県最大最古の石彫大獅子をメインに観光開発をするために資源調査、地域啓発アンケートの実施を行った。また、地域資源の組み合わせによりまちあるきコースを4つ作成し、八重瀬町ガイドとの連携の構築も図り、先進地リーダーとの勉強会を重ね魅力ある八重瀬町のたくさん詰まった八重瀬まるごと体験フェスティバルの実施に繋げた。 また、八重瀬町の認知度向上のために観光客向けに県外観光プロモーションの実施を行い、八重瀬町のPRを実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○観光ブランドを開発するためには内部での意思決定にとどまらず、外部からの認識により決定されることから観光プロモーションや外部からのモニタリング調査の重要性、さらに重要なのは観光ブランドとしての差別化を図り、安心安全に受け入れる体制づくりが最重要であることを認識した。 ○地域ブランドは外部から認識されて初めて地域ブランドとしてなり得るが、そのブランドを維持するためには、地域の方々のブランドに対する意識の啓発・誇りに醸成がブランドの維持及び価値の向上につながることを認識した。	○八重瀬観光ブランドの開発が一過性のものに終わらないように、継続して観光資源のプログラム化、更なるブラッシュアップの必要性及び観光ニーズを絶えず意識して継続した観光プロモーションの実施が不可欠。 ○観光資源のプログラム化において、最重要なのは地域の観光資源に対する意識及び誇りの醸成等の素地づくりを前提に受け入れる地域の仕組みづくりと人材育成が重要 (観光ガイドの育成及び看板設置等の条件整備等) ○地域の観光に対する意識啓発と地域に負担を掛けない、地域活性化に繋がる仕組みを協働で構築することの重要性の確認
今後の取り組み方針		
・観光ブランド開発のためには継続した取組の実施、地域住民の啓発が不可欠なので、平成26年度においても住民と協働の観光まちづくりの実践を行い、調査・検証・ブラッシュアップのサイクルを実施し、魅力ある八重瀬観光ブランドを創り上げていく。具体的には継続した以下の取り組みを行う。 1、観光ブランドを創り上げる住民との協働 2、観光ブランドとして観光プロモーションの継続実施 3、八重瀬町を体験滞在するための仕組みづくり 4、八重瀬町ブランドを構築させるための観光資源のブラッシュアップ及びコーディネート		

今後の取り組み方針

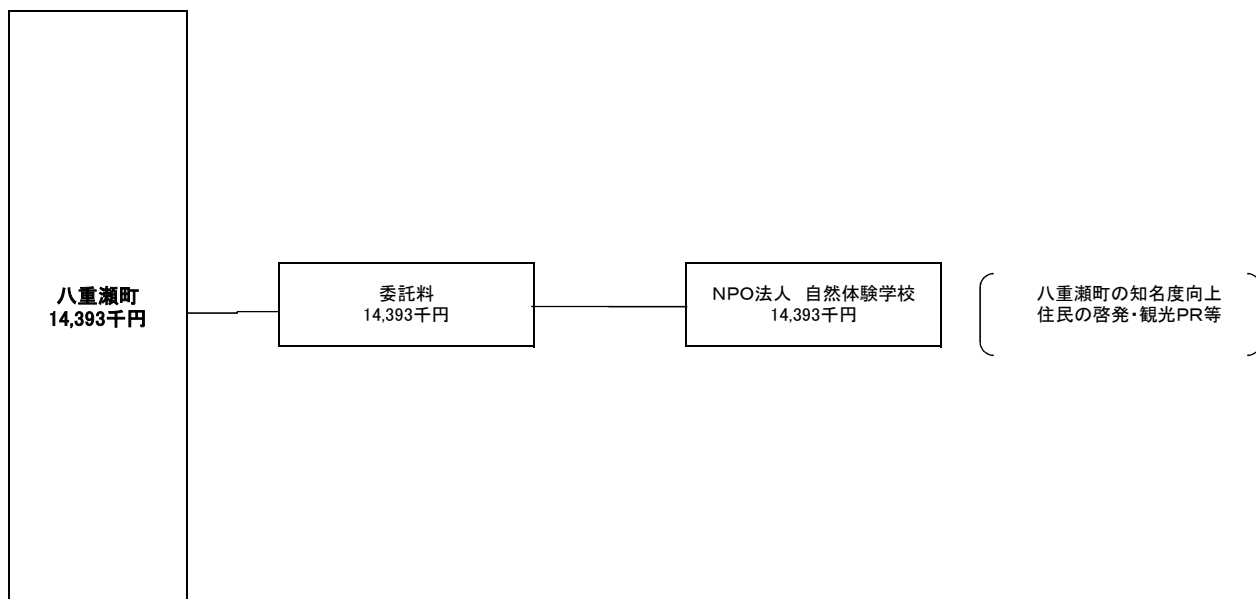
・観光ブランド開発のためには継続した取組の実施、地域住民の啓発が不可欠なので、平成26年度においても住民と協働の観光まちづくりの実践を行い、調査・検証・ブラッシュアップのサイクルを実施し、魅力ある八重瀬観光ブランドを創り上げていく。具体的には継続した以下の取り組みを行う。

- 1、観光ブランドを創り上げる住民との協働
- 2、観光ブランドとして観光プロモーションの継続実施
- 3、八重瀬町を体験滞在するための仕組みづくり
- 4、八重瀬町ブランドを構築するための観光資源のブラッシュアップ及びコーディネート

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
14,393	14,393	11,514	2,879	0



資金の流れ、費目、 使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○観光振興による八重瀬町地域活性化の手法は多彩なアプローチがあり、それらを精査し判別するために企画提案方式による随意契約を行った。 ○予算規模は仕様書のとおり事業内容通りに作成されており、積算も適正単価で構成されているので適正規模である。 ○費目、使途については完了段階で検査を実施しており、目的に則し、必要な事業費を精算した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	八重瀬カラベジブランド構築に関する事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ	
担当部課名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成	
事業内容	カラベジ製品を初めとする町の特産品の開発とブラッシュアップ及び販路開拓を支援する。同時に、カラベジブランド向上のためのイベントを開催し、顧客との接点作りを強化する。また、アンテナショップでの試験販売も実施する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000	9,975	9,912		
		(b) 予算現額	10,000	9,975	9,912		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計 (b+d)	10,000	9,975	9,912		
	B. 執行済額		10,000	9,134	9,912		
	うち交付金充当額		8,000	7,307	7,929		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		100%	92%	100%		
予算の状況の説明		八重瀬カラベジブランドの認知向上のためカラベジ製品の開発及び参画事業者のスキルアップ、各種イベントやプロモーションを行い販路拡大に繋げ、当初通り予算を適正に執行した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度 (3-③)	25年度 (3-③)	26年度	27年度 (3-②)	
	・カラベジ製品等の開発 ・物産展、商談会等への参加 ・カラベジフェアの開催	目 標	(5品開発)	(3品開発)	(実施)	()	
		実 績	5品開発	4品開発	2品開発 3回 1回		
	・カラベジスタンプラリーの開催 ・WEBを活用したプロモーション (販促及びブランドの顧客形成) ・アンテナショップの試験販売の実施	目 標	(1回)	(2回)	(実施)	()	
実 績		1回	1回	5回 2回 試験販売実施			
達成状況説明	八重瀬町の観光ブランド創造の一環として地域資源のひとつである「カラベジ」のブランド化を図るため各種活動を実施した。製品開発は2品に留まったが、イベント(スタンプラリー)は推進委員会にて企画内容を吟味し、食育と組み合わせたイベントへ変更し計5回実施、WEBプロモーションではYoutubeタイアップのPR動画やカラベジ製品プレゼント企画による新規顧客づくりなどを行い、カラベジブランドの認知向上を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度 (3-③)	25年度 (3-③)	26年度	目標値 (28年度)
	・新規カラベジ製品等の開発 ・物産展等参加(町内、那覇市、東京) ・デパートリウボウでのカラベジフェア ・カラベジスタンプラリー ・ブランド作りのためのイベント ・販促用媒体制作 12,000部	目 標	()	()	()	(3品 各1回 1回 1回 1回 12千部)	()
		実 績				(2品 キャラメルカフェ黒糖・ピーナツ キャラメルカフェ黒糖・大豆 各1回参加 1回開催 0回 5回開催 20万部制作)	
	【参考指標】 新規開発商品の販売額(千円)	目 標	()	()	()	(1,200)	(2,400)
		実 績				0	
進捗状況説明	当初目標については新規製品の開発を除き概ね目標を達成している。商品開発については、これまでの開発費等の支出ではなく、専門家による事業者の意欲向上と自立化を目的に商品化・マーケティングの方法など一連のセミナーにより指導助言を行い自助努力を促した。その結果、参画事業者の大部分が小規模経営の事業者であるため、多角的な事業運営が困難であり、目標3品に対し、実績は2品(「キャラメルカフェ黒糖 ピーナツ/大豆」となった。しかし、商品開発自体は黒糖菓子製造の上地屋と35コーヒーマーのソーエイドーのマッチングにより自主的に行われ、パッケージへのブランディングをカラベジデザインを使用することで相乗効果を図った。平成26年度の販売目標を1,200千円と設定したが、商品化が年度末となり実績はゼロとなっている。また、ブランドづくりのイベントは、当初スタンプラリーを計画していたが、カラベジ推進委員会において、開発した商品の販路拡大と新たな顧客の掘り起こしが重要であることが検討され、ターゲットを絞り込み、30代女性を対象に野菜直売所にて商工会女性部と連携し、カラベジ等農産物と食育を組み合わせたイベントを4回開催し、新しい顧客の掘り起こしを行った。また、本活動の認知を図るため情報誌を毎月発行し町内飲食店、ゆいレール駅、空港ショップ等に設置し認知向上を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・これまでの活動の継続性と、新聞やテレビなどマスコミに露出することで一定の成果があったものとする。 ・一方で活動当初に参画した事業者やこれまでの活動に参画してきた事業者のまとまりと勢いがやや衰えている。 ・売上に結びつかない事業者が離れていく、今後の発展性が作り切れていない。事業者がブランドを活用してどうなりたいかが見えていないため、事務局任せになっている。 ・農産物を素材に使うことからスタートしたが、当初の参画事業者から数も業種の幅も増えたことから魚介や工芸などミスマッチの製品も生じ、発信情報と実態が異なる現象が生じており、今後の整合性をどう図るかが課題。 ・県内観光客の増加と、平成29年度供用予定の町観光拠点施設は販路拡大の大きな機会。 ・販売目標を達成するためには、これまでの物産展や各種催事など情報発信で待つだけでなくWeb等を活用し新たなニーズを捉えた販路の構築が必要。 ・自主努力及び自走経営を促すために専門家による参画事業者全体の底上げを図るなかで、自主的に商品開発に繋がったのは成果である。しかしながら参画事業者の大部分が小規模経営の事業者であるため、多角的な事業運営が困難であり新規開発は2品に止まった現状を考えると、今後も継続したブランディングを行い販路開拓を支援する必要がある。 ・カラベジブランドは、これまでのように短期的なイベントを実施するのではなく長期的な視点によりターゲットを絞り込んで、カラベジ推進委員会が主導しブランディングを行い、カラベジブランドの浸透を図る必要がある。	・カラベジブランドの位置づけと、その他の製品の整合性を図る必要がある。 ・事業実勢体制を再構築する必要がある。 ・今後のブランド発展性と、拠点施設を販路拡大の機会とし実行計画を策定する必要がある。 ・参画事業者の意欲を高め、自助努力をしながら自走に向けて専門家と共に指導助言を伴走しながら実施していく方法が最善と考える。 ・売上増のためのプロモーションの継続と新たな取組が必要。 ・販路拡大のため、直販だけでなく流通に乗せるための商品のブラッシュアップが必要。 ・新たな販路支援としてふるさと納税の特典に参画事業者の商品を活用する。
今後の取り組み方針		
・カラベジブランドありきで事業を推進するのではなく、業種等の枠を広げ、未活用な地域資源の情報収集及び分析を行った上で、カラベジブランドを含めた新たなブランディングを行う。 ・商品開発については、事業者は一連のセミナーにてノウハウを学んでスキルアップを図り、専門家の指導助言等を受け、自走を目指す。 ・プロモーションについては、アンテナショップを兼ねたキッチンカーを活用しカラベジ製品及び地域資源を活用した飲食メニューの提供等により行う。 ・地域全体の商品の価値の底上げを図るために必要な施策の実施、また八重瀬ブランドを確立させるためにリーディング事業者の育成・支援を行う。 ・販路拡大のため特産品コンテスト等への出展やプレスリリースを行い、マスコミへの露出機会を増やす。また流通を想定した商品改良を支援しマッチングを行い取引業者数の増加を図る。 ・これまでのカラベジ参画事業者及びこれからの参画事業者を牽引するようなリーディング事業者及び特産品を選定し、重点的に育成することでカラベジ参画事業者全体を地域ブランドとして八重瀬町の知名度向上を図り地域活性化につなげる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		9,912	9,912	7,929	1,983	0
八重瀬町 9,912千円 委託料 9,912千円 八重瀬町商工会 (八重瀬カラベジブランドの構築、移動車輛及び 新たなWebサイト構築による販路拡大支援及び プロモーション、地域ブランド育成講座)						
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目			評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。			○委託先は、これまでの活動実績、地域との協力関係及び八重瀬ブランドの構築の 目的の性質を考慮して、八重瀬町の地域事業者の集合体であり、地域活性化の趣 旨に取り組む八重瀬町商工会と随意契約とし妥当だと考える。 ○予算規模は仕様書のとおり事業内容通りに作成されており、積算も適正単価で構 成されているので適正規模である。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額 の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名	八重瀬町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	八重瀬町観光プロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ	
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成26～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成 Ⅲ-1-(4)	
事業内容	八重瀬町の観光振興を推進するにあたり、観光施策を構築し積極的な観光プロモーションを実施するため、観光プロモーションの管理業務委託、発地への観光プロモーション等の旅費及び営業車両の購入を行う。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000	6,904	9,821		
		(b) 予算現額	9,993	6,904	9,821		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 7	0	0		
		(d) 繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	9,993	6,904	9,821		
	B. 執行済額		9,993	6,788	6,674		
	うち交付金充当額		7,994	5,429	5,339		
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	98.3%	68%		
予算の状況の説明		観光プロモーション車両購入に係る入札残等及び支援員雇用に遅れが生じたため、不用額が生じたが事業目的は適正に達成されている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
				26年度	27年度	28年度	29年度
	・八重瀬の観光キャラクターのPR ・八重瀬の観光情報の発信業務 ・各種イベントにおける観光PR ・各種イベントの管理及びサポート	目 標	(PR)				
		実 績	PR				
		目 標	()				
		実 績					
達成状況説明	平成24年度に公募により誕生したやえせのシーちゃんを観光プロモーションに活用しPRすることで、八重瀬町の認知度向上を図り観光振興につなげるため、観光業務を企画運営するプロモーション支援員を雇用し積極的に八重瀬町観光PRを行った。また、やえせのシーちゃんを効果的に露出するために観光プロモーション専用車両を購入し八重瀬町の走る広告塔としても活用し八重瀬町のPRに繋げた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	・イベントへの観光PR出展 2回 ・各種観光イベントへのPR 随時	目 標	()	(イベント出展 2回 観光イベント)			
		実 績		ツーリズムジャパン出展 各種イベントPR 3回			
	【参考指標】 ○向陽高校とのコラボによる八重瀬町中国語PR映像作成 ○各種イベントの企画運営 5回	目 標	()	()			
		実 績					
	進捗状況説明	ツーリズムEXPOジャパンに沖縄県唯一市町村として単体で出展し、沖縄県最大最古の石彫大獅子ややえせの民俗芸能及び各種八重瀬町地域資源を観光PRを行った。また、プロモーション支援員においてやえせのシーちゃんを活用した八重瀬町の認知度向上や各種町内外のイベントにおいて観光振興のための企画運営を実施し、広く町内外へ八重瀬町の観光プロモーションを行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○観光ブランドを構築するためには内部での意思決定にとどまらず、外部からの認識により決定されることから観光プロモーションや外部からのモニタリング調査の重要性、そして八重瀬町全体での取り組みを行う必要がある。そのためには、一過性の取組に終わらないように、各種地域資源や取り組みが連携・連帯するように観光振興の企画・運営・管理・検証の取組を行わなければならない。	○八重瀬観光ブランドの構築が一過性のものに終わらないように、継続して観光資源のプログラム化、連携した取組、更なるブラッシュアップの必要性及び観光ニーズを絶えず意識して継続した観光プロモーションの実施が不可欠。 ○イメージキャラクターは今後、それを使用して何を・誰に・何のために行うことが重要であり、継続して行う必要がある。 ○幅広いニーズを取り組むだけではなく、ターゲットを絞り八重瀬町の観光プロモーションを行う必要がある。

今後の取り組み方針
イメージキャラクターを効果的に八重瀬町の観光PRに活用し、八重瀬町の観光ブランドを構築するために継続して以下の事業を行う。 1、沖縄県最大最古の石彫大獅子を観光振興に活用するために地域との合意形成及び仕組みづくりを行う。 2、プロモーション支援員において一貫性のある連携した観光の企画運営を積極的に行う。 3、積極的に観光イベント等に出展し、八重瀬町の観光PRを行う。 4、八重瀬町が観光地として受け入れられるように、地域資源に対して必要な条件整備等を行う。 5、観光パンフレット等の作成及び効果的なPRを企画し観光振興を行う。 6、その他、観光ブランド構築にあたり必要な施策を委員会で諮り、関係機関と連携して実施を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,674	6,674	5,339	1,335	0

八重瀬町

6,674千円

報酬

2,502千円

観光ブランド構築委員会及び観光プロモーション支援員報酬

共済費

282千円

観光プロモーション支援員共済費

旅費

603千円

ツーリズムEXPOジャパン出展

需用費

406千円

消耗品費等

役務費

157千円

郵送代等

備品購入費

2,722千円

やえせのシーちゃん
観光プロモーション専用車両

資金の流 れ、費 用、 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○観光専用車両は指名競争入札により安価な事業者へ選定しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は仕様書のとおり事業内容通りに作成されており、積算も適正単価で構成されているので適正規模である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者はなし
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について精査し執行しており適正である。

市町村名	八重瀬町							
平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	八重瀬町和牛改良支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（7）－オ		
担当部課名	農林水産課	事業実施（予定）年度	平成26～30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産技術の開拓と普及 Ⅲ－1－（6）		
事業内容	農家の経営の安定化・質の高い食用牛の改良を進めるため、優良母牛導入に向けて支援を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,000					
		(b) 予算現額	12,000					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	12,000					
	B. 執行済額		11,902					
	うち交付金充当額		9,521					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		99.2%					
予算の状況の説明		1頭に対し、80％補助・上限40万円での導入を行った。不用額98千円については、上限を下回った際の残である。						
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	種雄牛の育種価の脂肪交雑がAランク以上の産肉能力があり、導入時の体高が平均値以上または登録審査時の審査特典が80点以上を見込める雌牛の導入を実施	目 標	（ 導入の実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	導入の実施					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	今年度、優良繁殖雌牛の導入が県内・県外・妊娠牛など計画どおり30頭導入できた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（25年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（29年度）	
	優良母牛導入頭数 30頭	目 標	（ ー ）	（ 30頭 ）				
		実 績		30頭				
	【参考指標】 繁殖雌牛頭数（基本登録数）	目 標	（ ー ）	（ 720 ）			790	
		実 績		708				
	進捗状況説明	県内・県外から計30頭の優良繁殖雌牛が計画どおりに導入が行えた。基本登録は生後14ヶ月以上で授精していることが条件である。種付きが悪い牛やまだ14ヶ月に満たない牛は基本登録が行えないため実績数の減となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・食用牛を育てる基盤が他自治体に比べ弱く、付加価値の高いブランド牛の生産振興が遅れている。 ・事業を推進する上で明らかになった課題として、繁殖雌牛として導入した雌牛が繁殖障害で繁殖能力がない場合が考えられる。	・繁殖能力の高い雌牛を導入する事により、経産牛との入れ替えや、優良繁殖雌牛の導入でよりよい子牛の生産が行え基盤強化を図る。 ・導入月齢を36ヶ月未満にする事により妊娠牛の導入も行えるようにした。そうする事で繁殖障害等を未然に防止できる。また、飼養管理の指導を行っていく。 ・補助率の見直し
今後の取り組み方針		
・引き続き導入事業を継続していくが、初年度であった為、導入のみになったが今後は導入しながらも飼養管理や繁殖指導等を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,902</td><td>11,902</td><td>9,521</td><td>2,381</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 八重瀬町 11,902千円 委託料 11,902千円 沖縄県農業協同組合 11,902千円 (雌牛導入委託)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,902	11,902	9,521	2,381	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,902	11,902	9,521	2,381	0										
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者には上限を超えた部分の負担を求めた。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名	八重瀬町							
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-②	八重瀬町「農と緑」地域活性化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-オ		
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成26～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産技術の開設と普及		
事業内容	沖縄の亜熱帯気候に適する花、観葉植物、果樹等の苗を種苗ハウス内で育苗し、公共施設や住民に配布し、緑化思想の普及啓発を図る。また、地域農業の活性化に体験農場や農業塾・教室を開き農業経営者の育成を図るため種苗センターの整備を行う。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,300					
		(b) 予算現額	6,300					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	6,300					
	B. 執行済額		5,940					
	うち交付金充当額		4,752					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		94.3%					
予算の状況の説明		平成26年度は事業の基本設計・実施設計を行い、平成27年度に用地取得・勾配修正工事、平成28年度に建築工事。 不用額360千円は入札による残。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	種苗センター及び体験農場の基本設計書作成	目 標	(設計書作成)	()	()	()		
		実 績	設計書作成					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	平成26年度には9社を指名し、競争入札を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(25年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	種苗センター及び体験農場の建設に向けた基本設計完了	目 標	()	(設計書作成)	()	()	()	
		実 績		設計書作成				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	2月に入札を行い、業者を決定して計画通り設計書作成を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	沖縄の亜熱帯気候に適する花、観葉植物、果樹等の苗を種苗ハウス内で育苗し、緑化思想の普及啓発を図る上で、今年度は設計書の作成を行えたが、次年度の目標に向けて工程等の確認を慎重に進めていきたい。 また、工事等の計画もあるが運営していく上での利用者募集を行っていく。	運営の要綱・要領の整備をし、工事を進めていく。
今後の取り組み方針		
(今後の展開方針) H26年度:基本設計 H27年度:実施設計及び建設工事 H28年度:供用開始 ・運営主体は公募の上、NPO等に指定管理させる予定 ・施設の年間利用者(目標)7,500人/年		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,940</td><td>5,940</td><td>4,752</td><td>1,188</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,940	5,940	4,752	1,188	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,940	5,940	4,752	1,188	0										
八重瀬町 5,940千円 → 委託料 5,940千円 → 設計工房 玄 5,940千円 〔 設計書作成 〕														
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
資金の流 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は入札残であり適正な規模であった。 ○受益者はなし ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町										
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	4-③		八重瀬町農業用機械施設整備事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-カ		
担当部課名	農林水産課		事業実施(予定)年度		平成25～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(6)		
事業内容	さとうきびを中心とした農業振興を図るため、共同利用機械(農業用パワーショベル)を整備する。										
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度		27年度		28年度		29年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	24,803								
		(b)予算現額	24,803								
		(c)増減額(b-a)	0								
		(d)繰越額	0								
		A.計(b+d)	24,803								
	B.執行済額		13,118								
	うち交付金充当額		10,494								
	次年度繰越額										
	執行率(%) (B/A)		53%								
予算の状況の説明		不用額が発生しているが、入札残によるもの。									
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)			達成状況							
				26年度		27年度		28年度		29年度	
	パワーショベル1台購入	目標	(1台)								
		実績	1台								
		目標	()								
		実績									
達成状況説明	パワーショベル(1台)は、計画通り事業実施できた。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)			基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)			
	・パワーショベル1台導入 H26年度 整備率 60%→80%	目標	()	(60%→80%)							
		実績			60%→80%						
		目標	()	()							
		実績									
	進捗状況説明	本町では、受益面積に対し地区別に5台必要とする計画があるため、H26導入を含め、これまでに4台導入済である。よって整備率80%であり、計画書のH26成果目標を達成とする。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	近年、さとうきびの収穫にはハーベスタ(収穫機械)導入に伴い、機械収穫が進んでいる。ハーベスタなどの踏圧により硬化した土壌を破碎するには、パワーショベルが必要であるとともに、本町の土壌はジャーガル土壌が主であることからさとうきび栽培においてはパワーショベルが必要不可欠であることがいえる。 さとうきびを植え付ける際には、天地返しを行い土壌を深耕し土壌物理性の悪化を食い止め病害虫防除ともなり、さとうきびの増産が見込まれる。 ・作業受託組織に農業用機械の導入を補助することで、受益地区全体の作業ができることから、農家個人ではなく生産法人等に導入することが望ましい。 ・事業で導入した農業機械の管理運営、利用状況等の把握を行う必要がある。	機械を導入補助を行ったことにより、さとうきびをはじめとする農業振興に期待ができる。 ・さとうきび植え付け前の天地返し作業による効果(増産) ・耕作放棄地の解消 パワーショベルが事業目的外使用がされないためにも、キャビンに緑に塗装し、農業用であることを示すとともに、車体の2か所にシール等で事業名や地区名等が明確となるよう工夫した。 今後も、株出し回数が多い農家へ新植を促しパワーショベルによる天地返しを行い良い土壌ができるよう呼びかける必要がある。
今後の取り組み方針		
今後は、農業機械の対応年数の間において、適切な管理運営を指導するとともに、事業実施後の管理運営、利用状況及び事業効果の把握に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17,709</td><td>13,118</td><td>10,494</td><td>2,624</td><td>4,591</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	17,709	13,118	10,494	2,624	4,591
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
17,709	13,118	10,494	2,624	4,591										
八重瀬町 13,118千円 ➡ 補助金 13,118千円 ➡ 八重瀬町具志頭農業機械銀行 (事業主体) 13,118千円 自己負担(20%) 4,591千円 パワーショベル(農業機械)														
資金の流 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は入札により行われており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業計画書に対し、適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業主体の負担については20%を負担しており、妥当であったと考えている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業計画書により、農業機械の規模決定根拠等も整理されており、適正と判断している。											

市町村名	八重瀬町							
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-④	八重瀬町地産地消フェア事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ		
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成26～30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	流通・販売・加工対策の強化		
事業内容	本町にて拠点産地に指定されている農作物等や畜産・水産及び、それらを使用した加工品等をイベント「八重瀬町地産地消まつり」を行い、黒糖作り、展示販売(青果、花き、加工品)、集客イベント開催等を行うことで本町の地場産業の情報発信を実施することで、農林水産業の振興を図る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,000					
		(b)予算現額	4,000					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	4,000					
	B.執行済額		3,996					
	うち交付金充当額		3,196					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		99.9%					
予算の状況の説明		予算は、事業内容に即した適正額であったため、事業計画どおりの執行となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	八重瀬町地産地消まつり開催支援(2箇所)	目標	(開催支援)	()	()	()		
		実績	支援実施					
	農産物のPR	目標	(PR)	()	()	()		
		実績	PR					
達成状況説明	「八重瀬町地産地消まつり」を支援することで、会場整備及びイベント開催(伝統芸能、黒糖作り等)チラシ広報作成等を行うことで、まつりの内容充実が実施され、本町で栽培されている彩り鮮やかな作物等の周知を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(26年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	八重瀬町地産地消まつり来場者数(2,000人)	目標	(2,000)	(2,000)	()	()	()	
		実績		2,900				
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	地場産業(農作物、畜産、水産等)等のPRを図るため、地場産業を活用したイベント「八重瀬町地産地消まつり」を開催したところ、まつり1回目に約1,700名、2回目に約1,200名の合計で、約2,900名が訪れた。まつりに訪れた方は町内だけでなく、町外の方も見られた。八重瀬町の魅力ある彩り鮮やかな地場産物を効果的に発信することで、本町の農林水産業の活性化に繋がった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	1) 本町の彩り鮮やかな農林水産物を町内外に情報発信したが、町外等からの来場者が少数であったように感じた。 2) イベントの来場者は、目標を上回る結果が出た。 3) まつり当日は雨であったため、雨天時への対応策を事前に検討する必要がある。	1) 町外等への広報方法を検討する。 2) 来場者及びニーズ等を把握できるアンケート等を実施し、まつり内容を検討していく。
今後の取り組み方針		
1) 地場産業(農作物、畜産、水産等)等を効果的にPRできるよう、開催時期や広報方法を検討する。(重点的な農林水産物のPR等) 2) 来場者及びニーズ等を把握できるアンケート等を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,735</td><td>3,996</td><td>3,197</td><td>799</td><td>2,739</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,735	3,996	3,197	799	2,739
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,735	3,996	3,197	799	2,739										
八重瀬町 3,996千円 → 補助金 3,996千円 → 八重瀬町地産地消まつり実行委員会 3,996千円 (補助内容) 会場設営費(テント、音響等)、広告費(チラシ、ポスター、横断幕等)、交通整理費、イベント費(舞台出演者等) (交付対象外経費 2,739千円)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金の支出先は、役場が事務局となっている。まつり実行委員会のため問題ありません。 ○予算は、事業内容に即した適正額であったため、事業計画どおりの執行となっている。 ○まつり実行委員会による業務発注も書類等を精査した結果、適切に行っている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町												
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】													
事業番号・事業名	5-①		教育施設省エネ化推進事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(3)-ア				
担当部課名	教育委員会 学校教育課			事業実施(予定)年度	平成25～27年度			沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進				
									Ⅲ-10-(1)				
事業内容	環境にやさしい教育施設を推進するため、八重瀬町役場地球温暖化対策実行計画に基づき照明設備をLED化し省エネ化を推進する。小学校体育館の照明設備LED取替委託業務及び工事を行う。												
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()												
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		25年度		26年度		26年度		27年度		28年度		
			(a) 当初予算額		13,371		25,017						
			(b) 予算現額		13,371		24,624						
			(c) 増減額 (b-a)		0		▲ 393						
			(d) 繰越額		—		—						
	A. 計 (b+d)		13,371		24,624								
	B. 執行済額		13,367		24,624								
	うち交付金充当額		10,693		19,699								
	次年度繰越額		0		0								
	執行率 (%) (B/A)		100%		100%								
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。											
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)			達成状況									
				25年度		26年度		26年度		27年度			
	公立学校施設 2校			目 標	(1校)		(2校)						
				実 績	1校		2校						
	実施設計・取替工事の実施			目 標	()		(実施設計・取替工事の実施)						
				実 績			実施設計・取替工事の実施						
達成状況説明	「新城小学校体育館」と「東風平中学校体育館」の2校について、設計委託業務及び、LED照明設備取替工事を行った。												
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)			基準値 (年度)		25年度		26年度		27年度		28年度	
	小学校施設 1校 中学校施設 1校 実施設計・取替工事の実施			目 標	()		(49%)		(小学校1校 中学校1校)				
				実 績			59%		小学校1校 中学校1校				
	取り替え工事により、消費電力の削減率が約59%となる。			目 標	()		()		(削減率 小・中学校 59%)				
				実 績					小学校63% 中学校65%				
	進捗状況説明	・LED照明設備取り替え工事により、両校ともに月次合計使用電力量削減率の実績数値が目標数値を上回り、成果を達成できた。 ・次年度においても、小学校体育館1校、中学校体育館1校の工事を行い、省エネ化を推進する。											

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・公立学校体育館を限定に取り替え工事を推進してきたが、校舎等においても電力需要と、環境に配慮するためLED化により、省エネ化の推進が必要である。	・今回の取り替え工事により、目標以上の達成ができたが照明設備の選定において更なる向上を図る。校舎等においては、児童生徒の学習効果の向上を図る。
今後の取り組み方針		
沖縄県の自然環境にやさしい施設整備として、照明設備をLED化することによりCO2の削減に大きく貢献し、地球温暖化防止の役割を果たす。また、八重瀬町役場地球温暖化対策実行計画が策定されており、CO2削減や省エネ化を促進するため引き続き学校施設の照明設備をLED化していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
八重瀬町 24,624千円 委託料 1,836千円 工事請負費 22,788千円 株式会社 設備研究所 1,836千円 (LED取替工事設計委託業務) (新城小学校・東風平中学校) 沖新電工 9,893千円 (LED取替工事(新城小学校)) 沖電水工事株式会社 12,895千円 (LED取替工事(東風平中学校))														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>24,624</td><td>24,624</td><td>19,699</td><td>4,925</td><td>0</td></tr> </table>		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	24,624	24,624	19,699	4,925	0			
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
24,624	24,624	19,699	4,925	0										
資金の流	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
資金の流 点検 評価 項目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○受益者はなし ○費目・使途は事業目的に即し、必要なものに限定されている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-①	やえせの民俗芸能啓発資料作成事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア		
担当部課名	生涯学習文化課	事業実施 (予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	文化資源を活用したまちづくり			
事業内容	旧東風平町と旧具志頭村が合併し10年を迎える。地域の民俗芸能が楽しめる態勢を構築し、お互いの芸能を共に励ましあい継承と発展にこれまで取り組んできた。地域と地域、人と人を結ぶ文化のあり方についてこれからも地域コミュニティの繋がりを醸成させ、経済活用、地域振興としてますます八重瀬町の発展、沖縄県の発展に寄与する。地域力である民俗芸能にスポットをあて、地域民俗芸能を次世代に「つなぐ側」と「継承する側」の双方の姿を取り上げ啓発資料を作成する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,159					
		(b) 予算現額	6,159					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	6,159					
	B. 執行済額		6,153					
	うち交付金充当額		4,923					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		99.9%					
予算の状況の説明		当初、一般競争入札により不用額があったが、変更契約及び啓発資料メディア変換等で予算とおり執行し、啓発資料の作成が拡充した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
				26年度	27年度	28年度	29年度	
	町民用パンフレット	目 標	(15,000部)					
		実 績	15,000部					
	県内外へのPR用パンフレット	目 標	(12,000部)					
		実 績	12,000部					
	カレンダー	目 標	(2,000部)					
		実 績	2,000部					
達成 状 況 説 明	町民用パンフレットは町内全世帯に配布及び公共施設等へ配布し、町民へ啓発を図った。町内外PR用パンフレットはA5版冊子で県内モノレール駅、県外沖縄県関係店舗等での配布により啓発拡充が図れた。カレンダーにおいては年明け前には配布完了した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)	
	町民用パンフレット:15,000部 県内外へのPR用パンフレット:12,000部 カレンダー2,000部	目 標	()	(15,000部 12,000部 2,000部)	()	()	()	
		実 績		15,000部 12,000部 2,000部				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	地域の民俗芸能が楽しめる態勢を構築し、お互いの芸能を共に励ましあい継承と発展にこれまで取り組んできた。地域と地域、人と人を結ぶ文化のあり方についてこれからも地域コミュニティの繋がりを醸成させ、経済活用、地域振興としてますます八重瀬町の発展、沖縄県の発展に寄与する。地域力である民俗芸能にスポットをあて、地域民俗芸能を次世代に「つなぐ側」と「継承する側」の双方の姿を取り上げ啓発資料を作成し配布普及啓発を図った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・地域民俗芸能は、年中行事の中で実施されるため字外部の認知度は低い。 ・少子化や多様な社会ニーズにおいて、地域行事への意識の希薄化。 ・地域伝統の民俗芸能を支援することによる文化資源活用の地域コミュニケーションの強化。 ・同時期に開催される年中行事なため、他民俗芸能との交流がない。 ・伝統芸能等保存団体の後継者育成の取り組み ・町外へ民俗芸能の啓発による八重瀬町のPRを展開	・町内、町外へ八重瀬町の民俗芸能の紹介をとおして啓発を図った。 ・編集に際し、地域の民俗芸能団体が協力し地域の親睦、交流の機会を得た。 ・地域伝統行事や民俗芸能を保有していない地域への活動の推進を図った。 ・町内の民俗芸能や伝統芸能を一堂に会した交流事業を実施した。 ・特色ある互いの民俗芸能を知ることにより、後継者育成や保存継承の課題解決について交流を展開する。 ・地域の行事への積極的な参加を促し、途絶えない文化資源活用の地域コミュニケーションの強化を継続する。
今後の取り組み方針		
啓発資料にて、町民の文化意識の高揚を図る。文化資源を活用した八重瀬町をPRする。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		6,153	6,153	4,923
				市町村負担金
				1,230
				交付対象外経費
				0
八重瀬町 6,154千円 委託料 6,099千円 委託料 54千円 (株)東洋企画印刷 6,099千円 株式会社 海燕社 54千円 〔やえせの民俗芸能啓発資料作成業務〕 〔メディア変換業務〕 町民用パンフレット:15,000部 県内外へのPR用パンフレット:12,000部 カレンダー2,000部				
資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 流 れ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者はなし	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については目的に即し必要のものであった。	

市町村名	八重瀬町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	八重瀬の歴史(町史概要版)作成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア	
担当部課名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり		
事業内容	八重瀬町史が今後作成されるにあたり、新たな取り組みとして八重瀬町の歴史をダイジェストで取り上げた概要版を作成し、町史を広く普及させることにより地域に対する意識の高揚を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,938				
		(b)予算現額	1,938				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A. 計(b+d)	1,938				
	B. 執行済額		1,917				
	うち交付金充当額		1,533				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		99%				
予算の状況の説明		編集内容については、町史編集委員会において検討し予算通り執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	八重瀬の歴史(町史概要版)12,000部発刊	目標	(12,000部)				
		実績	12,000部				
	八重瀬町内世帯 10,500世帯 配布	目標	(10,500部)				
		実績	10,500部				
	町外または官公庁等 1,500部 配布	目標	(1,500部)				
		実績	1,500部				
	達成状況説明	八重瀬町の合併10年の内容と今後発刊される町史を概要版として、見やすく読みやすく紹介することにより地域への意識を高める。八重瀬の歴史(町史概要版)は区長会をととして全世帯へ配布。町内公共施設、関係機関への配布。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度
八重瀬の歴史(町史概要版)12,000部発刊 八重瀬町内世帯 10,500世帯配布 町外または官公庁等 1,500部配布		目標	()	(12,000部 10,500部 1,500部)			
		実績		(12,000部 10,500部 1,500部)			
		目標	()	()			
		実績					
進捗状況説明		八重瀬町の合併10年の内容と歴史を掲載し、今後発刊される町史を概要版として見やすく読みやすく紹介する概要版として発刊。八重瀬の歴史(町史概要版)を区長会をととして全世帯へ配布。町内公共施設、関係機関への配布も行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・ビジュアル版として発刊することにより従来の旧町村史とは異なり、今後発刊されていく八重瀬町史への関心を高める必要がある。 ・合併10年の歴史を概要版でまとめる。 ・八重瀬町全世帯へ配布する。	・印刷物のサイズをA4サイズにすることで、見やすさ、読みやすさの充実を図る。 ・内容も合併10年の歴史に加え、今後発刊されていく町史の各分野ごとに整理し掲載する。 ・町史概要版を活用した八重瀬町PRの活動展開も期待できる。
今後の取り組み方針		
八重瀬町全世帯へ、区長会を通して配布することにより、町史概要版による町民の文化意識の高揚を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,917</td><td>1,917</td><td>1,533</td><td>384</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,917	1,917	1,533	384	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,917	1,917	1,533	384	0										
八重瀬町 1, 917千円 → 消耗品費 138千円 → オフィスパートナー 138千円 [カラートナー購入] → 備品購入費 159千円 → オフィスパートナー 159千円 [プリンター購入] → 委託料 1, 620千円 → 株式会社アント出版 1, 620千円 [八重瀬の歴史(町史概要版)印刷製本業務]														
資金の流 用途の流 点検 評価 ・費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者はなし											
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については目的に即し必要なものであった。											

市町村名		八重瀬町					
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①		水難救助車整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ
担当部課名	総務課		事業実施（予定）年度	平成26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化
事業内容	水難救助車は海や川などの水に関する事故や災害に対応するための車両で、今回の計画車両は各種水難救助用の資機材を装備し、車内でウエットスーツに着替えるスペースを確保することで、出動指令において、潜水士免許既得者で水難救助訓練を積んだ隊員が躊躇することなく出動できる車両である。当消防の出動体制は、2車両に分乗し資機材の選定・ウエットスーツの着替え等でかなりの時間を要している。水難救助車を整備することにより、当該水難救助車に初動隊員が乗車し迅速・確実な水難救助活動が可能となる。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☒ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		(a) 当初予算額	17,458				
		(b) 予算現額	17,458				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	17,458				
		B. 執行済額	17,382				
		うち交付金充当額	13,905				
		次年度繰越額	0				
		執行率（％）(B/A)	99.6%				
	予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施し、順調に執行することができた。					
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	水難救助車両 1両 購入	目 標	（ 水難救助車両 1両 購入 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	水難救助車両 1両 購入				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	水難救助車は海や川などの水に関する事故や災害に対応するための車両で、今回の計画車両は各種水難救助用の資機材を装備し、車内でウエットスーツに着替えるスペースを確保することで、出動指令で潜水士免許既得者で水難救助訓練を積んだ隊員が躊躇することなく車両に乗り込み出動しております。当消防の出動体制は、出動車両や資機材の選定・ウエットスーツの着替え等でかなりの時間を要していましたが、水難救助車を整備することにより迅速・確実な水難救助活動が可能となりました。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（年度）
	水難救助車両 1両 配備	目 標	（ ）	（ 水難救助車 1両 配備 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		水難救助車 1両 配備			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	水難救助車を導入したことで、これまで課題であった資器材選定、ウエットスーツ着装等の時間短縮に繋がりと、迅速・確実な水難救助活動が可能となった。さらに車内において、広い空間を確保することにより、各種水難救助資機材を積載することができる。水害に関わる事案に対応できる資機材が充実され、消防力の強化に繋がりと住民及び本町を訪れる観光客への安心・安全が保たれる。導入後の水難救助車の出動件数は1件であったが、活動には至らなかった。訓練は9回の実績がある。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今回の計画車両を整備することにより、車内でウェットスーツに着替えるスペースの確保や各種水難救助用の資機材の充実により隊員が躊躇することなく、迅速・確実な水難救助活動が可能となった。 水難救助車の導入後は、出動及び訓練後に塩害の影響を受けた車両・資機材等の保守管理を行い、常に災害時に備えて出動できる状況を維持しなければならない。	水難救助車に関する資器材等の管理体制を充実させ、安全かつ迅速に出動体制を確保することを徹底させる。
今後の取り組み方針		
3交替制・各警備(24時間勤務)に管理責任者を配置し、定期的な保守点検や管理体制を充実させる。定期的な訓練は勿論、水難救助に関する研修等を行うことで、隊員のスキルアップと安全面の徹底を図り、水難救助活動の円滑な運用を展開して地域住民及び観光客等の安全と被害の軽減を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17,382</td><td>17,382</td><td>13,905</td><td>3,477</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	17,382	17,382	13,905	3,477	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
17,382	17,382	13,905	3,477	0										
八重瀬町 17,382千円 → 負担金 17,382千円 → 島尻消防、 清掃組合 17,382千円 水難救助車整備事業														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○一部事務組合への支出で事業目的から妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。一部事務組合への負担金のため必要経費全額負担としている。 ○費目、使途については、実績報告を精査し目的即した必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町							
平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	8-②	八重瀬町地域防災計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－（4）－イ		
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度	平成26～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化			
事業内容	本町には海岸、河川沿いに面した集落があるが、本町地域防災計画において津波に対する考えが十分ではなく、想定外の被害をもたらした東日本大震災のような大規模災害に備え、住民と本町を訪れる観光客の安心・安全を確保するため、国の防災基本計画や沖縄県地域防災計画を踏まえ、指定避難所の見直しや避難計画の策定を含めた地域防災計画の強化を図る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	29,697					
		(b) 予算現額	29,697					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	29,697					
	B. 執行済額		29,160					
	うち交付金充当額		23,328					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		98.2%					
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施し、順調に執行することができた。						
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	八重瀬町地域防災計画の策定	目 標	（ 地域防災計画の策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	地域防災計画の策定					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	国・県・指定公共機関及び指定地方公共機関・その他社会情勢等における制定及び改廃された法令・条例・規則を踏まえた地域防災計画の策定並びに、避難所の諸元把握や地域地区ごとの防災環境の把握を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（年度）	
	八重瀬町地域防災計画の策定	目 標	（ ）	（ 100% ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		100%				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	・新に制定及び改廃された法令等を踏まえた地域防災計画の全面改訂を行った。 ・避難対策を検証するため、本町の避難所を対象として、規模・機能等調査を行い、避難所諸元を台帳とした。 ・町の津波浸水想定区域や土砂災害危険箇所、過去の災害歴等の災害危険箇所データ等をもとに現地踏査を実施し、指定した地域地区ごとに防災環境を把握しその地区ごとに診断を行い、地区別防災カルテを作成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本町には海岸、河川沿いに面した集落があるが、町地域防災計画において津波に対する考えが十分ではなく、大規模災害に備え、住民と本町を訪れる観光客の安心・安全を確保するため、地域防災計画の全面改訂を行った。 各避難所の規模・機能調査を行うことで、防災機能の整備対策の課題が明らかとなった。 地区防災カルテを作成したことにより、各災害時リスクの検証ができた課題が明らかとなった。	地域防災計画は、実際の災害対応や防災訓練等を検証し、継続的な見直しを続けていく必要がある。 各避難所等の諸元整理を行ったことで、災害時における避難生活時に必要な環境を良好に保つために必要な設備の整備に努める必要がある。 地区別防災カルテにおける、各災害ごとのリスクの内容を踏まえた避難訓練等の実施に努める必要がある。
今後の取り組み方針		
今回、策定した地域防災計画を基に、平成27年度には、災害発生時・対応時・復興時のそれぞれにおける行動マニュアルを作成し、訓練等を通じた職員への周知徹底を行い更なる地域防災計画の強化を図る。 避難所の適切な指定を行い、災害時における避難所運営に必要な環境を保つために非常用発電機等の設備の整備を図る。 地区別における各種災害リスクの周知、啓発並びに、それを踏まえた地域による避難訓練等の実施を検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29,160</td><td>29,160</td><td>23,328</td><td>5,832</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	29,160	29,160	23,328	5,832	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
29,160	29,160	23,328	5,832	0										
八重瀬町 29,160千円 → 委託料 29,160千円 → 琉球国際航業株式会社 29,160千円 八重瀬町地域防災計画の全面改訂														
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○ 不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○ 費目、使途については、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-③	防災備蓄品整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成26～28年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化	
事業内容	亜熱帯気候である沖縄県では毎年多くの台風が接近・襲来しており、平成24年度にいたっては、大型で猛烈な台風が何度も接近・襲来している。また島しょ県である沖縄は、大規模災害時には物資の補給が困難となり、孤立してしまう恐れがあります。そのため、町独自で災害に備え、避難所に避難してきた住民に対し食糧や飲料水、応急給水袋、毛布等の備蓄品を供給できるようにする。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	14,155				
		(b)予算現額	14,155				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	14,155				
	B.執行済額		10,251				
	うち交付金充当額		8,200				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		72.4%				
予算の状況の説明		当初予算14,155千円に対し執行済額が10,251千円と大きな乖離があるが、その要因としては予算積算時における過大見積もりによるものである。入札時の予定価格については取引実例、参考見積書3者からの徴収により適正な価格であったと考える。(予定価格からの執行率は95.2%である。)					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	防災備蓄品の購入 ①カンパン:4,000食	目 標	(4,000食)	()	()	()	
		実 績	4,008食				
	②保存水:4,000本	目 標	(4,000本)	()	()	()	
		実 績	4,008本				
	③飲料水袋:8,900枚	目 標	(8,900枚)	()	()	()	
		実 績	8,900枚				
	④災害用トイレ袋:4,000枚	目 標	(4,000枚)	()	()	()	
		実 績	4,000枚				
	⑤トイレトーパーパー:432個	目 標	(432個)	()	()	()	
		実 績	432個				
	⑥ウォーターバルーン:6台	目 標	(6台)	()	()	()	
		実 績	6台				
	⑦連結給水栓:12台	目 標	(12台)	()	()	()	
実 績		12台					
⑧毛布:450枚	目 標	(450枚)	()	()	()		
	実 績	450枚					
達成状況説明	非常食及び飲料水、飲料水袋等についてはH26年度で備蓄品整備計画どおりの備蓄ができた。なお、災害用トイレ袋は4,000枚、トイレトーパーパーは384個、毛布は450枚をH27、28年度と継続購入し、H28年度には備蓄目標を確保できる予定。これらの備蓄品の整備を行ったことで大規模災害で孤立した場合でも住民等に物資を供給でき、避難してきた住民の生命を守ることができるとともに、避難所での混乱を防ぐことができる。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況			基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (28年度)
	①カンパン:100%	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
	②保存水:100%	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
	③飲料水袋:100%	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
	④災害用トイレ袋:33%	目 標	()	(33%)	()	()	(100%)
		実 績		33%			
	⑤トイレトーパーパー36%	目 標	()	(36%)	()	()	(100%)
		実 績		36%			
	⑥ウォーターバルーン:100%	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
	⑦連結給水栓:100%	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
⑧毛布:33%	目 標	()	(33%)	()	()	(100%)	
	実 績		33%				
進捗状況説明	非常食及び飲料水、飲料水袋並びに非常時給水用のウォーターバルーン、連結給水栓についてはH26年度で備蓄品整備計画どおりの備蓄ができた。なお、災害用トイレ袋は4,000枚、トイレトーパーパーは384個、毛布は450枚をH27、28年度と継続購入し、H28年度には備蓄目標を確保できる予定。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 本町では地域防災計画で定める食糧の備蓄が目標数に達しておらず、災害用の毛布、トイレ袋等の備蓄もないことから、災害発生時に避難者への対応が十分ではないため、食糧等の防災備蓄品を整備した。 災害用トイレ、トイレトペーパー、毛布については備蓄倉庫の容量不足から購入計画を分散した。 備蓄食糧等については、保存期限があるため、期限失効までにどのように備蓄品を入れ替えていくかが今後の課題である。 要配慮者のための介護用品、育児用品、女性用品等の物資の備蓄についても検討していく必要がある。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 新庁舎移転に伴い、備蓄倉庫が確保できることから、災害用トイレ、トイレトペーパー、毛布については、H27.28年度と継続購入し、目標数値の確保に努める。 備蓄食料等の保存期限失効等に伴う備蓄品入れ替え計画を作成し、防災計画に基づく数量を割らないよう努める。 要配慮者のための災害用物資については、必要量の把握について検証し、備蓄物資の備蓄及び調達ができるよう努める。
	今後の取り組み方針 災害用トイレ袋、トイレトペーパー、毛布についてはH27、28年度と継続購入し目標数値の確保に向けて整備していく予定である。 食糧備蓄品の入れ替えについては、期限失効間近な備蓄品を防災訓練等での活用等も踏まえ食糧備蓄等の入れ替え計画を作成する予定である。 要配慮者のための災害用物資について、流通在庫備蓄を活用することを基本とし、災害時に必要量を調達できるよう、民間団体等との協定の締結等を推進していくとともに、一定程度の備蓄についても考慮する。	

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		交付対象 外経費
		市町村 負担金		
10,251	10,251	8,200	2,051	0

資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 購入先業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 △ 不用額は事業費の28%程となっており事業計画時の適正な予算確保に努める必要があったと考える。 ○ 費目、使途については、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町											
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】													
事業番号・事業名		9-①		やえせの民俗芸能公演事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ					
担当部課名		生涯学習文化課		事業実施 (予定)年度		平成26年度		観光客の受入体制の整備					
						沖縄振興基本方針 該当箇所		Ⅲ-1-(1)					
事業内容		伝統の年中行事にある民俗芸能の連絡協議会が平成26年3月に発足した。その協議会を主体とした民俗芸能の事業を展開する。各地域で継承されている民俗芸能が一堂に会し発表の機会を企画することにより八重瀬町の特色ある民俗芸能を町内外へ発信する。											
実施方法		■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()											
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)				26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
		予算 の 状 況	(a)当初予算額	10,101									
			(b)予算現額	10,461									
			(c)増減額(b-a)	360									
			(d)繰越額	0									
			A.計(b+d)	10,461									
		B.執行済額		10,461									
		うち交付金充当額		8,368									
		次年度繰越額		0									
		執行率(%) (B/A)		100%									
予算の状況の説明		舞台作成費において、高温注意報発令に伴い急遽体育館への扇風機の導入等が生じたため増額した											
活動目標 (指標) 及び達成状況		H26活動目標(指標)		達成状況									
				26年度		27年度		28年度		29年度			
		・町内民俗芸能による八重瀬PR (出演約300名予定)	目 標	(300名)						()			
			実 績	380名									
		・民俗芸能団体の交流、活性化、資質向上 (33ヶ字内/15団体出演)	目 標	(15団体)		()		()		()			
			実 績	15団体									
				目 標	()		()		()		()		
		実 績											
達成 状 況 説 明		八重瀬町民俗芸能連絡協議会と協議し、出演団体や演目の調整を行った。民俗芸能が一堂に会し発表する機会を企画することにより八重瀬町の特色ある民俗芸能を町内外へ発信した。出演者も老若男女と幅広く、計画を上回る約380名の出演者が参加した。文化資源を活用した事業が展開される中で、民俗芸能関係者の交流が図れたことは今後の観光振興、文化振興の基盤づくりとなった。											
成果目標 (指標) 及び進捗状況		H26成果目標(指標)		基準値 (年度)		26年度		27年度		28年度		目標値 (28年度)	
		やえせ民俗芸能公演来客数:800名	目 標	()		(800名)		()				()	
			実 績			1,100名							
			目 標	()		()		()		()		()	
			実 績										
進 捗 状 況 説 明		既存の中央公民館ホールでは収容人員数400名と規模は小さいことから、町営体育館で開催した。仮設の舞台や控え室の設置、会場設営に加え時期的に暑さが厳しく、仮設の扇風機を導入した。しかし、八重瀬町内5コースに巡回バスを配車し町民を会場へ輸送した。800名予定して来客数が1,100名と大幅に増えた。											

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・地域民俗芸能は、年中行事の中で実施されるため字外部の認知度は低い。 ・少子化や多様な社会ニーズにおいて、地域行事への意識の希薄化。 ・地域伝統の民俗芸能を支援することによる文化資源活用の地域コミュニケーションの強化。 ・同時期に開催される年中行事なため、他民俗芸能との交流がない。 ・伝統芸能等保存団体の後継者育成の取り組み ・町外へ民俗芸能の啓発による八重瀬町のPRを展開	・町内、町外へ八重瀬町の民俗芸能の紹介をととしたPRを展開。 ・出演に際し、地域の民俗芸能団体の交流の機会を得た。 ・町内の民俗芸能や伝統芸能を一堂に会した交流事業を実施した。 ・特色ある互いの民俗芸能を知ることにより、後継者育成や保存継承の課題解決について交流を継続する。 ・地域の行事への積極的な参加を促し、途絶えない文化資源活用の地域コミュニケーションの強化する。
今後の取り組み方針		
民俗芸能公演にて、町民の文化意識の高揚を図る。文化資源を活用した八重瀬町をPRする。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
八重瀬町 10,461千円 → 報償費 1,964千円 スタッフ、出演者謝礼金 → 賃金 1,106千円 事務補助員 → 需用費 519千円 消耗品 印刷費 → 役務費 54千円 保険料 通信運搬費 → 委託費 南西ビデオ 100千円 映像記録作成業務 → 委託費 プロモーション沖縄 650千円 広報啓発業務 → 委託費 Copin 5,557千円 舞台作成業務 → 委託費 砂辺松永テント 仮設控室設置費 → 使用料及び賃借料 220千円 車両リース代 → 共済費 130千円 共済費														
		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>10,461</td><td>10,461</td><td>8,368</td><td>2,093</td><td>0</td></tr> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	10,461	10,461	8,368	2,093	0		
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
10,461	10,461	8,368	2,093	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、本業務の履行にあたりノウハウや業務の習熟、地域信頼関係の醸成において他に類を見ない能力を有する事業者であるため随意契約を交わしており本業務の性質を考慮して妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○受益者はなし ○費目、使途については目的に即し必要なものであった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	八重瀬町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-②	やえせの物産展民の賑い			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	生涯学習文化課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	特産品や八重瀬ブランドの発信を民俗芸能と同様に、地域特有のものである。その物産展と民俗芸能の共同実施により「見て、味わい、八重瀬を感じる」といった町のPR事業を展開する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		(a) 当初予算額	2,307				
		(b) 予算現額	2,307				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	2,307					
	B. 執行済額	2,208					
	うち交付金充当額	1,766					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	96%					
予算の状況の説明	保険料及び広報啓発費において不用額が生じたため。事業の実施においては計画通り実施できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	・八重瀬町特有の特産品と民俗芸能による八重瀬町のPR	目標	(PR)				
		実績	PR				
	・CM等周知強化による、集客増員	目標	(CM,チラシ配布)				
		実績	CM,チラシ配布				
	・民俗芸能(屋外演舞)と物産のコラボにより民俗芸能にちなんだ新たな商品の開発	目標	(町内8店舗)				
		実績	町内8店舗				
達成状況説明	特産品や八重瀬ブランドの発信を民俗芸能と同様に、地域特有のものである。その物産展と民俗芸能の共同実施により「見て、味わい、八重瀬を感じる」といった町のPR事業を展開した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(28年度)
	物産展来客数:500名	目標	() (500名)				
		実績		1,000名			
		目標	() ()				
		実績					
	進捗状況説明	やえせの物産展を開催するにあたり、会場周辺の地域への新聞折り込みチラシやCM広報活動を拡大させた。来場者に八重瀬町の物産をとおしたPRが展開できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・八重瀬町の特産品を町外でPRすることにより認知度を高める。 ・八重瀬町商工会や町内店舗の協同によるPR活動の充実を図る。 ・八重瀬町の民俗芸能を活用した観光PR ・出店舗への協力依頼、出演団体への出演依頼等の交渉、協力体制の強化について	・出店舗については商工会をととして、特色ある商品を扱う店舗を抽出してもらった。 ・出演団体については、八重瀬町民俗芸能連絡協議会で選定してもらった。 ・エアーアーチ門や野外ステージ、音響委託など町内業者の協力も得られた ・地域の行事のみ使用される旗頭やエイサー演舞、棒術を八重瀬町PR事業に賛同し出演した ・テレビ、ラジオと電波放送によるCMで八重瀬町の知名度向上に寄与した
今後の取り組み方針		
・地域特有の企画をするマネジメントをさらに強化し、文化産業の充実による地域コミュニティの発展を図る。 ・商工、産業、文化と「まちの薫り」づくりの企画、発信を行う。 ・物産や民俗芸能を活用した地域プロモーション事業の企画及び、地域底辺の意識啓蒙に繋がる取り組みの実施。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																														
八重瀬町 2,208千円 → 報償費 824千円 スタッフ、出演者謝礼 → 需用費 366千円 消耗品 印刷費 → 役務費 45千円 ゴミ処分料 大道具運搬費 → 委託費 南西ビデオ 100千円 映像記録作成業務 → 委託費 プロモーション沖縄 150千円 広報啓発業務 → 委託費 遊脳人 97千円 野外ステージ音響業務 → 委託費 砂辺松永テント 401千円 仮設ブース設置業務 → 使用料及び賃借料 222千円 車両リース代 <table><tr><td rowspan="2">総事業費</td><td rowspan="2">交付対象 事業費</td><td colspan="2"></td><td rowspan="2">交付対象 外経費</td></tr><tr><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td></tr><tr><td>2,208</td><td>2,208</td><td>1,766</td><td>442</td><td>0</td></tr></table><table><tr><th rowspan="5">資金 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目</th><th>評価</th><th>点 検 項 目</th><th>評価に関する説明</th></tr><tr><td>○</td><td>支出先の選定方法は妥当か。</td><td rowspan="4">○委託事業者は、本業務の履行にあたりノウハウや業務の習熟、地域信頼関係の醸成において他に類を見ない能力を有する事業者であるため随意契約を交わしており本業務の性質を考慮して妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○受益者はなし ○費目、使途については目的に即し必要なものであった。</td></tr><tr><td>○</td><td>予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。</td></tr><tr><td>－</td><td>受益者との負担関係は妥当であるか。</td></tr><tr><td>○</td><td>費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。</td></tr></table>						総事業費	交付対象 事業費			交付対象 外経費	交付金 充当額	市町村 負担金	2,208	2,208	1,766	442	0	資金 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、本業務の履行にあたりノウハウや業務の習熟、地域信頼関係の醸成において他に類を見ない能力を有する事業者であるため随意契約を交わしており本業務の性質を考慮して妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○受益者はなし ○費目、使途については目的に即し必要なものであった。	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。
総事業費	交付対象 事業費			交付対象 外経費																										
		交付金 充当額	市町村 負担金																											
2,208	2,208	1,766	442	0																										
資金 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明																											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、本業務の履行にあたりノウハウや業務の習熟、地域信頼関係の醸成において他に類を見ない能力を有する事業者であるため随意契約を交わしており本業務の性質を考慮して妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○受益者はなし ○費目、使途については目的に即し必要なものであった。																											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。																												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。																												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。																												

市町村名	八重瀬町							
平成２６年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	9-③	ハーレー振興事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)		
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成26～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備			
事業内容	毎年、旧暦の5月4日(ユッカヌヒー)に行われる港川ハーレー(爬竜船競争)は、海人(ウミンチュ)の豊漁と航海の安全、集落の安泰を祈願して行われます。しかし、ハーレー舟の老朽化や保管場所がないため、新たにハーレー舟の造船、ハーレー舟保管の格納庫を整備する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,000					
		(b) 予算現額	2,000					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	2,000					
	B. 執行済額		1,993					
	うち交付金充当額		1,594					
	次年度繰越額							
	執行率 (%) (B/A)		100%					
予算の状況の説明		当初予算、事業計画どおりに執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	ハーレー舟造船の材料を購入する。	目 標	(材料購入)	()	()	()		
		実 績	材料購入					
達成状況説明	ハーレー舟造船の材料を購入し、乾燥させ次年度に向けた整備条件を整えた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	材料を約半年間乾燥させ、次年度整備に向けた条件を整える。	目 標	()	(条件の整備)	()	()	()	
		実 績		条件の整備				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	平成27年度の造船作業に向けて材料を約半年間乾燥させている。今後は、ハーレー舟の造船、保管場所の整備計画に取り組む。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ハーレー舟の老朽化や保管場所がなく、後継者の育成など伝統行事の存続が危ぶまれており、ハーレー舟の造船に必要な材料の購入に取り組んだ。	今後、ハーレー舟造船及び保管場所の整備が計画どおり執行できるよう努める。今後は、伝統行事の保存継承、観光資源化の取り組みを図る必要がある。
今後の取り組み方針		
平成27年度にハーレー舟及び格納庫を整備。平成28年度のハーレー行事から供用開始し、伝統行事の保存継承及び本町、地域の活性化を図る。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,993	1,993	1,594	399	0

八重瀬町

1,993千円

→

委託料

1,993千円

→

いとまんサバニ製作所

1,993千円

(ハーレー舟材料購入委託)

資金の流れ、 点検、 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は、特殊な技能、経験等を要する為、他に代替できないことから随意契約で行った。 ○予算は、事業内容に対し適正額であり事業内容どおり執行した。 ○事業費、使途については、目的に即し、必要であったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	八重瀬町						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-①	衛星船舶電話通信機器設置事業補助事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－(ア)		
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
					Ⅲ－1－(6)		
事業内容	沖縄県漁業生産量のうち、マグロ漁やソデイカ(セーイカ)漁が1、2番目の生産量を誇り、全国生産量でもソデイカ(セーイカ)漁は、沖縄県が半分以上を占めている。マグロ、ソデイカ漁は遠距離の操業になり安全を確保する為、衛星船舶電話(デジタル式)を整備する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,131				
		(b) 予算現額	4,131				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	4,131				
	B. 執行済額		2,951				
	うち交付金充当額		2,361				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		71%				
予算の状況の説明		予算は、5隻予定していたが、1隻は組合員でなく対象から外れ、4隻での事業執行である。入札により1,179千円の不用額が発生し執行率が低くなった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	衛星船舶電話 5隻へ設置	目 標	(5隻)	()	()	()	
		実 績	4隻				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	当初予定の5隻のうち、1隻は組合員でなく対象から外れ4隻の整備となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	衛星船舶電話設置が必要な船舶への整備率100%	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	4隻の衛星船舶電話機器設置により、遠方漁業へ安全に操業できるようになった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化） 船舶電話もアナログ式が使用できなくなり、良漁場は、遠方の海域まで操業するためデジタル式の機器に替えることで緊急等の連絡など安全の確保が図られる。対象外の1隻は、町内在住であるが他市町村の漁協に所属しており対象外とした。他の漁協所属であるがその市町村でも在住ではないので対象外であるということで当初は、こちらで該当できるか検討していたが対象外とした。	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点） 漁船用船舶衛星電話の設置により、遠方漁業での海上での安全、緊急時の連絡等が可能になった。今後、管理、改善等があれば対応していきたい。今回の様な漁業者が出た場合、今後どうするか課題である。
	今後の取り組み方針 衛星船舶電話の整備設置により漁業者の安全な操業及び水揚げ量の増も期待でき、水産業振興及び地域の活性化を図る。今後、要望等があれば取り組んでいきたい。	

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
3,541	2,951	2,361	590	590

```

graph LR
    A[八重瀬町  
2,951千円] --> B[補助金  
2,951千円]
    B --> C[港川漁業講堂組合  
2,951千円]
    C --- D["組合負担分(交付対象外経費)  
590千円"]
      
```

	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は、組織構成、知識、経験等を勘案し選定したので妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算は事業内容に対し適正であり、入札により予定額より低くなり執行率が落ちた。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業費、使途については、目的に即し、必要であったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○受益者にも一部費用(1割+消費税)を負担してもらっており、妥当である。

市町村名	八重瀬町							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	11-①	健康いきいきウォーキングマップ作成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章2節-(1)-ヌ		
担当部課名	教育委員会 社会体育課		事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-3-(4)		
事業内容	近年、平均寿命の低下、生活習慣病の増加等で「健康美ら島おきなわ」のイメージが失われつつある。「沖縄・八重瀬でスポーツ健康長寿！」の復活をめざし、ウォーキングマップを作成・配布する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,166					
		(b) 予算現額	1,166					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	1,166					
	B. 執行済額		1,065					
	うち交付金充当額		851					
	次年度繰越額							
	執行率 (%) (B/A)		91%					
予算の状況の説明		一般競争入札により当初見積額よりの9%程度支出が抑えられた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	ウォーキングマップ作成	目 標	(作成)					
		実 績	作成					
		目 標	() () () ()					
		実 績						
達成状況説明	1000部作成。当初はウォーキング大会での配布を予定していたが完成が間に合わず公共機関等に設置して配布を行った。町広報誌・民間の新聞社等に取材協力でPRを行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	ウォーキング大会にて配布	目 標	() (1000部)	()	()	()	()	
		実 績		0				
	【参考指標】八重瀬町の約11,000世帯		目 標	() (10%)	()	()	()	
			実 績		10%			
	進捗状況説明	目標としたウォーキング大会での配布はできなかったが町内公共機関での設置・配布は達成できた。八重瀬町11,000世帯へのマップ配布、教室・大会開催での運動習慣の必要性の啓蒙活動を図ることが急務とされる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・町スポーツ推進委員を活用して地域の身近なコースを設定・作成した。 ・マップ作成が年度末になったためウォーキング大会への配布ができなかった。 ・作成したマップがどう活用されているか、内容について改善点はないか検証する必要がある。	・関係課と連携を密にして安心安全なコースづくりを再検討する。 ・マップを活用して運動習慣の必要性についての啓蒙活動に努める。 ・町ホームページからもダウンロードできるよう取り組む。 ・教室等の参加者に対してモニタリングを行い効果を検証する。
今後の取り組み方針		
・利用者のニーズに応じたマップ継続して作成し、さらに利用しやすくする。 ・関係部署と連携し、「歩きやすい」環境づくりに努める。 ・地域活動で活用できるようにスポーツ推進委員を活用して取り組む。 ・ウォーキング大会で参加者へ配布する。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,065</td><td>1,065</td><td>852</td><td>213</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,065	1,065	852	213	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,065	1,065	852	213	0										
八重瀬町 1,065千円 → 委託料 1,065千円 → 株式会社 近代美術 1,065千円 (マップ作成委託業務)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業内容に見合った適正な規模になっていると判断した。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担はなし											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名	八重瀬町							
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	12-①	浮魚礁設置事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章3節-(7)-エ			
担当部課名	農林水産課	事業実施 (予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保 及び経営安定対策等の強化			
事業内容	新たに中層浮魚礁を設置することにより、マグロ、カツオ等の水揚げ量を増やし、漁業経営の安定化を図るとともに、遊漁船による観光振興も推進する。その為、次年度に中層浮魚礁を設置するために必要な地形、水深を確認する為の測量を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	3,186					
		(b)予算現額	3,186					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額						
		A. 計(b+d)	3,186					
	B. 執行済額		3,024					
	うち交付金充当額		2,419					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		95%					
予算の状況の説明		当初予定どおり、中層浮魚礁設置に伴う深浅測量調査を行った。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	中層浮魚礁設置測量の実施	目 標	(深浅測量調査 実施)	()	()	()		
		実 績	深浅測量調査 実施					
	ニーズ調査	目 標	(ニーズ調査実施)	()	()	()		
		実 績	ニーズ調査実施					
達成 状況 説明	中層浮魚礁の設置場所の地形及び深さの測量調査、ニーズ調査を実施した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)	
	ニーズの把握、設置基数・箇所の決定 中層浮魚礁設置測量の完了	目 標	()	ニーズの把握、設置基数 箇所の決定中層浮魚礁 設置測量の完了	()	()	()	
		実 績		ニーズの把握、設置基 数 箇所の決定中層浮魚礁 設置測量の完了				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗 状況 説明	漁業者にニーズ調査を実施し、中層浮魚礁設置予定地を定め深浅測量調査を実施した。調査結果に基づき、今後、浮魚礁設置に向けて取り組む。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	漁業者にニーズ調査を実施し、港川地先の中層浮魚礁設置予定地を定め、地形、水深測量調査を実施した。中層浮魚礁の設置に向けて取り組みたい。	中層浮魚礁の設置により、マグロ等の水揚げ量の増や遊漁船等による観光振興の推進が期待できる。今後、新規漁業者、後継者の育成に取り組んでいきたい。
今後の取り組み方針		
調査結果をもとに中層浮魚礁を設置し、漁業経営の安定化と遊漁船による観光振興の取り組みを推進する。水揚げ量の集計を行い事業効果の検証を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>3,024</td><td>3,024</td><td>2,419</td><td>605</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,024	3,024	2,419	605	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,024	3,024	2,419	605	0										
<pre> graph LR A[八重瀬町 3,024千円] --> B[委託料 3,024千円] B --> C["(株)イケハラエンジニア 3,024千円"] C --- D["中層浮魚礁深浅測量委託"] </pre>														
資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託費については、指名競争入札により執行しており、妥当と考えている。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者はなし											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○中層浮魚礁設置深浅測量調査の事業目的を達成し、費目、使途について必要であったと判断した。											